

令和8(2026)年度

奈良女子大学 総合型選抜

探究力入試「Q」

学生募集要項

<確定>

国立大学法人奈良国立大学機構

奈良女子大学

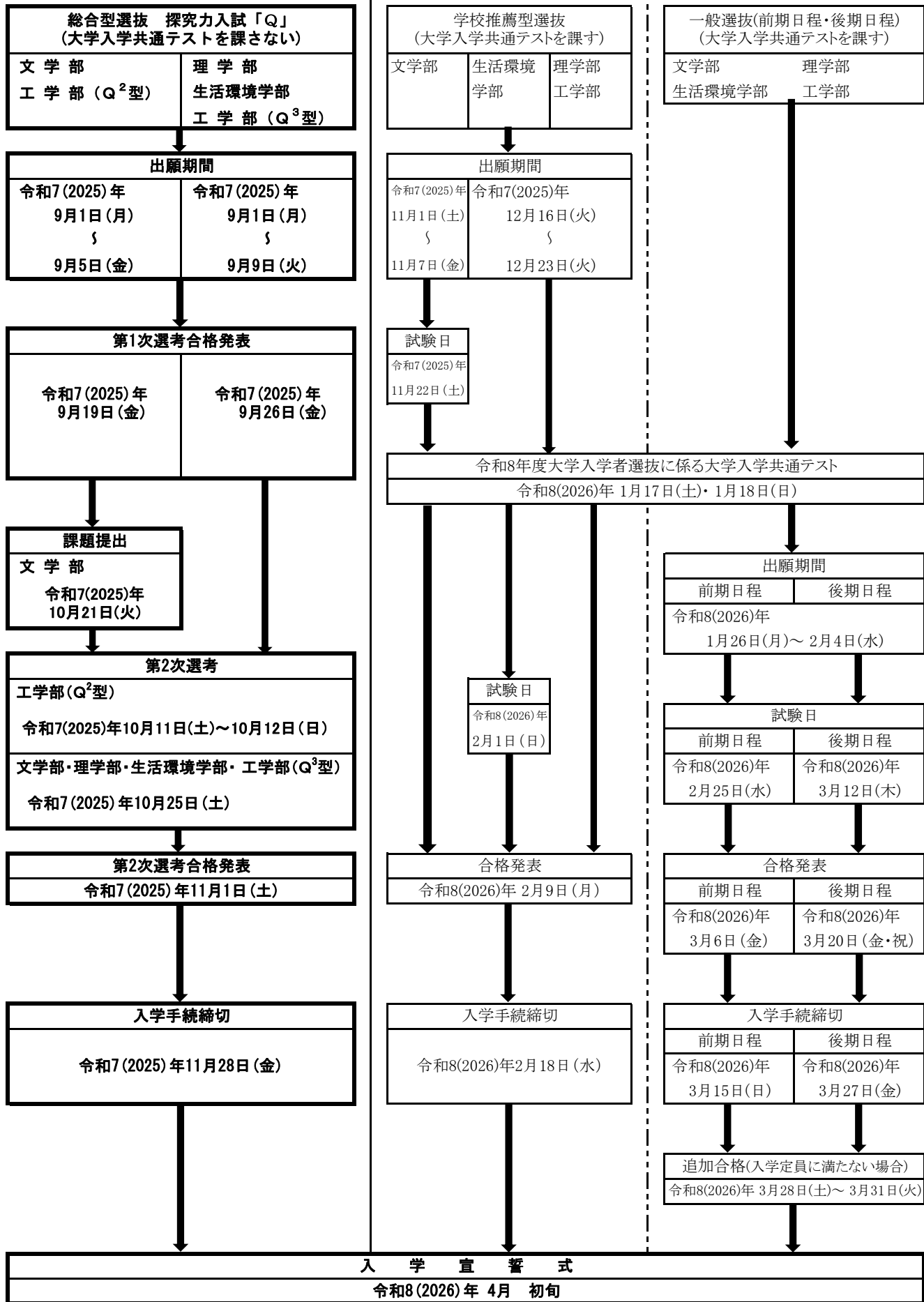
〒630-8506 奈良市北魚屋西町

TEL : 0742 - 20 - 3353 (入試課)

E-mail : nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp

(件名が空欄の場合、正しく届かないことがあります。)

入試日程の概要



目 次

1.	はじめに～趣旨 アドミッション・ポリシー	1
2.	選抜単位と募集人員	2
3.	選考方法と選抜日程	3
4.	出願資格	4
	求める学生像, 提出書類, 選考方法等(選抜単位別)	
5.	文学部 p. 5～8, 理学部 p. 9～16, 生活環境学部 p. 17～26, 工学部 p. 27～30	5
6.	出願手続	3 1
7.	出願期間	3 2
8.	受験票の印刷と写真貼付	3 3
9.	出願にあたっての注意事項	3 3
	Web出願の流れ	3 4
10.	出願の前に相談や手続が必要な場合について	3 8
11.	合格発表	3 9
12.	合格者に対する入学前教育等について	3 9
13.	大学入学共通テストの受験について	3 9
14.	入学手続等	4 2
15.	本入試で不合格になった場合の国公立大学への出願について	4 2
16.	その他の案内	4 3

令和8(2026)年度 奈良女子大学 総合型選抜 探究力入試「Q」 学生募集要項

1. はじめに 趣 旨

奈良女子大学では、令和3(2021)年度入学者選抜（令和2(2020)年度に入学者選抜、令和3(2021)年4月に1期生入学）から新しく総合型選抜を実施しております。

名称は、探究力入試「Q」。この「Q」は、「探究」のキュー、「question」と「quest」のQです。単に答えを出すのではなく、自分で問いを立ててそれを解き明かしていく。そういうことが好きなひとをこの入試は歓迎します。

なぜでしょうか。それは、本学のアドミッション・ポリシー（下記参照）にもあるとおり、大学という場がそのような世界だからです。

大学にいるのは教師と生徒ではありません。教員も学生もともに探究をする者として同じ地平に立ち、互いの知的関心を尊重しながら進んでいく。それが大学です。

そこでは、試験問題等を解くべく身につけた勉強の能力だけではなく、日頃から瑞々しい問いを抱き、考え、答えをだし、さらにそれを疑う力が大切です。

あなたの中のキラリと光るなにか。それをじっくり見せてもらえる入試を実施します。

奈良という落ち着いた環境で、知的好奇心を存分にふくらませ、何かに熱中する4年間を過ごして来てください。

奈良女子大学のアドミッション・ポリシー（本学を志望する皆さんへ）

2021年8月 改定

奈良女子大学では、大学での学びに関する以下のような考えに基づき、それにふさわしい学生を求めています。

大学とは知を創造する空間です。真理を明らかにし、善や美を問う探究の場です。大学での学びはその探究と不可分であり、学生もまた探究者です。奈良女子大学で人文社会科学・自然科学・生活科学・工学を学んだ学生が、現代における諸問題の解決を通して社会に貢献する道も、この探究とともにあります。

このような考えに基づき、学生一人ひとりの個性が尊重される環境で、それぞれの関心に応じた教養教育と基礎教育、そして専門的な研究を通じて自ら探究することを、奈良女子大学は伝統としてきました。この奈良の地で、共に探究に挑む気概と能力をもった学生を私たちは求めます。

探究に必要なのは、人間の生や生活、社会や自然に対する瑞々しい問い、これまで人類が集積してきた知識への体系的な理解、およびそれらに立脚した柔軟かつ論理的な思考です。問い・知識・思考を培う豊かな学びを大学入学までに体験した皆さんと共に探究に臨みたいと、私たちは願っています。

大学入試にあたり、上に述べたような探究に必要な能力の基礎を、高等学校段階までの学びの成果としての学力を試験することによって、私たちは評価します。そこでは、諸学の知識はもちろんのこと、それらに関係づけ活用する力が求められます。また、探究への気概や問いを立てる力、そして潜在的な可能性などをみる選抜方法も工夫しています。本学の多様な選抜方法や各学部での出題内容には、私たちが求める学生へのメッセージが込められています。

共に知を創造する仲間としての皆さんに会えることを、私たちは楽しみにしています。

2. 選抜単位と募集人員

選抜単位ごとの募集人員は次のとおりです。

選抜単位			募集人員
文学部（3つの探究テーマから1つを選択）			12名以内
理学部	数物科学科（受験区分（数学型，物理型）を選択）		10名以内
	化学生物環境学科	化学コース	
		生物科学コース	
		環境科学コース	
生活環境学部	食物栄養学科		9名以内
	心身健康学科		
	住環境学科		
	文化情報学科	生活文化学コース	
		生活情報通信科学コース	
工学部	工学科	Q ² 型（スクエア）	10名以内
		Q ³ 型（キューブ）	5名以内

※合否判定は，選抜単位ごとに行います。

※選考の結果によっては，合格者が募集人員に満たない場合があります。入学手続き者が募集人員に満たない場合は，一般選抜前日程募集人員にその不足した人数を加えます。

※理学部数物科学科においては，第2年次から各コース（数学コース，物理学コース，数物連携コース）に所属することになります。コース配属の際，受験区分のどちらを選択したかは問いません。

※生活環境学部心身健康学科においては，第3年次から各コース（生活健康学コース，スポーツ健康科学コース，臨床心理学コース）に所属することになります。その際，選考を行うことがあります。

※この総合型選抜に合格して入学した人は，入学後に所属する学部を変更することはできません。学科・コースについては以下のとおりです。

文学部：選択出願した<探究テーマ>を入学後に変更することは原則として認められません。

理学部：出願時に選択した学科・コースの変更については，所定の時期にその希望を出すことができます。ただし，一定の条件を満たした場合に限り認められます。

生活環境学部：出願時に選択した学科・コースを入学後に変更することは原則として認められません。

※工学部：Q²型（スクエア）とQ³型（キューブ）の両方に出願することはできません。

3. 選考方法と選抜日程

	出願期間 ※1	第1次選考結果 発送 ※2	第1次選考合格者が 大学宛に送付する課題 レポートの提出期限	第2次選考	最終合格発表 ※3
文学部	令和7(2025)年 9月1日(月) ～9月5日(金) 必着	9月19日(金)	10月21日(火) 必着 ※4	10月25日(土)	11月1日(土)
理学部	9月1日(月) ～9月9日(火) 必着	9月26日(金)	なし		
生活環境 学 部	9月1日(月) ～9月9日(火) 必着	9月26日(金)	なし		
工学部	Q ² 型(スクエア) 9月1日(月) ～9月5日(金) 必着	Q ² 型(スクエア) 9月19日(金)	なし	Q ² 型(スクエア): 10月11日(土) ・12日(日)	
	Q ³ 型(キューブ) 9月1日(月) ～9月9日(火) 必着	Q ³ 型(キューブ) 9月26日(金)		Q ³ 型(キューブ): 10月25日(土)	

※1 文学部・工学部Q²型(スクエア)は9月4日(木)以前の発信局(日本国内)消印, 理学部・生活環境学部・工学部Q³型(キューブ)は9月8日(月)以前の発信局(日本国内)消印のある「簡易書留速達」郵便に限り(持参不可), 期限後に到着した場合でも受理します。

※2 結果発送に関する詳細は, 39ページの「11. 合格発表」を確認してください。

※3 合格発表に関する詳細は, 39ページの「11. 合格発表」を確認してください。なお, 大学入試センターによる大学入学共通テストは可否判定には用いませぬ。ただし, 選抜単位によっては, 入学前教育の一環として, 最終合格者に対して大学入学共通テストの受験を求めます。詳細は39ページの「13. 大学入学共通テストの受験について」を確認してください。

※4 10月20日以前の発信局(日本国内)消印のある「簡易書留速達」に限り(持参不可), 期限後に到着した場合でも受理します。

4. 出願資格

奈良女子大学では、従前から入学資格として設定していた「女子」の概念（日本国籍をもつ場合は戸籍の性別が「女性」、日本国籍以外の場合は法的性別が「女性」）に、女性としての性自認を持つトランスジェンダー女性（MtF）を含めます。

本学の総合型選抜に出願できるのは、本学において学びたいという強い意欲を有する女子で、次の各号のいずれかに該当し、合格した場合には入学することを確約できる者としてします。なおこの出願資格は、どの選抜単位を志望する場合にも適用されます。

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和8(2026)年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8(2026)年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条(第6号及び第7号を除く)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8(2026)年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- ④ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条第7号の規定により、本学における入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳以上に達している者又は令和8(2026)年3月31日までに18歳に達する者

※上記③において、英国の大学入学資格として認められているGCEAレベル資格取得者として出願する場合は、必ず出願前に本学入試課へ問い合わせてください。

※上記④により、入学資格審査を受けようとする者は、必ず申請前までに本学入試課へ問い合わせてください。

申請時期 令和7(2025)年7月7日(月)～7月11日(金) 必着

5. 求める学生像, 提出書類, 選考方法等(選抜単位別)

文学部

選抜の趣旨

文学部の学問は、人と社会との関係や表現活動について考えることを通して、私たち人間がどのような存在であるのかという問いを究めようとするものです。

文学部総合型選抜 探究力入試「Q」では、高等学校での教科や総合的な探究の時間および課外活動を通じて得た興味や関心、基礎知識をもとに、文学部で特定のテーマを探究する意欲とそのための基礎学力、思考力、表現力をみます。

出願の単位～3つの探究テーマ～

令和8(2026)年入学者向けに募集する特定のテーマとは、「ことばと人間の探究」、「社会と人間の探究」、「地域と環境の探究」の3つです。志願者はいずれか1つを選んで出願してください。複数に出願することはできません。また、3つのテーマからどれを選択出願するかによって、2年次から所属する学科、3年次から履修するコースが異なります(詳細は8ページの「入学後の学び」を参照)。出願前に十分検討してください。

<ならの探究>について

2026年度入学者から「ならの探究」テーマ枠の募集を停止します。ただし存続する3つのいずれのテーマにおいても、奈良に関わる探究を行うことは引き続き可能です。

ことばと人間の探究

求める学生像

- ・ことばそのもの、または文学、哲学、思想、芸術、スポーツやダンスなど、人間がことばや身体を用いて行う表現活動のいずれかに強い関心のある人。
- ・上記の関心のある対象についてより深く考察してみようという意欲のある人。
- ・自分が考えたことを論理的な文章に構成して表現することが好きな人、あるいはそうした力を磨く意欲のある人。

入試でみる能力

高校での国語、外国語、歴史、公民、芸術、体育などの学び、または留学などの異文化経験、創作活動や表現活動などの経験を通じて、ことばや身体およびそれによる人間の表現活動に関する基礎的な知識を備え、そうした知識をもとに自ら考えたことを文章で表現する能力を身につけていること。

社会と人間の探究

求める学生像

- ・経済的格差と社会文化的対立の拡大を背景に、社会的公正や多様な人々の共生と包摂に強い関心を寄せる人。
- ・さまざまな社会を視野に入れ、社会調査やフィールドワークなど、課題にアプローチするさまざまな方法を学び、社会的共生と包摂について学術的に探究したいと考える人。

入試でみる能力

高校での公民、地理歴史の教科や総合的な学習、または課外活動や校外活動などを通じて、多様な人々の共生と包摂の問題について基礎的な知識や思考力を身につけていること。

地域と環境の探究

求める学生像

- ・地域が抱える課題や環境・災害に関する問題について、文系・理系の枠組みにとらわれず、多面的な考察・思考ができる人。
- ・フィールドワークを通じて、地域の諸問題に積極的に関わろうとする人。
- ・グローバルかつローカルな視点を持ち、将来、社会・地域貢献や国際協力などの活動に関わろうとする人。

入試でみる能力

高校での地理歴史、公民、外国語などの教科や総合的な学習、または社会・地域活動を通じて、社会・文化・地域・環境を総合的にとらえる基礎的な力を身につけていること。

高等学校等での要履修科目（3つのテーマに共通）

指定科目はありません。

提出書類

① 調査書

文部科学省所定様式により、出身（在校中の）高等学校等（中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校高等部及び文部科学省が認定又は指定した在外教育施設高等部を含む。以下同じ。）の長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、既卒生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。いずれの場合も出願期間中に提出できる最新のものを出してください。また、高等学校等卒業後相当の年数が経過している等により、調査書の発行を受けられない人は、卒業証明書及び成績証明書を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験合格者は「合格成績証明書」を提出してください。

国際バカロレア資格、アビトゥア資格又はフランスバカロレア資格を取得した人は、当該資格を証明する書類及び成績を証明する書類を提出してください。

前述以外の人、高等学校段階に相当する学校の修了（見込）証明書及び成績証明書を提出してください。

② テーマに関する志望理由書

様式は、本学ウェブサイト(<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>)からダウンロードしてください。また、様式にある注意事項をよく読み、書類を作成してください。

③ テーマに関する志願者評価書

様式は、本学ウェブサイト(<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>)からダウンロードしてください。また、様式にある注意事項をよく読み、書類の作成を依頼してください。（和文、英文いずれかの作成で構いません。）

選考方法

下記の方法で選考を行います。

I 第1次選考

- ・提出書類により、総合的に判定します（100点満点）。
- ・書類選考ですので志願者はこの選考のために来学する必要はありません。
- ・なお、第1次選考の合否判定は、テーマ別ではなく学部一括で行います。

II 第2次選考のための提出物について

第1次選考の合格者には、下記の指定図書についてのレポート等の課題を送付します。10月21日（火）（必着）までに課題レポート等を提出してください（第1次選考結果発表等の日程は、39ページの「11. 合格発表」を参照）。提出方法は課題とともにお知らせします。

[ことばと人間の探究]

指定図書：

- ・北村紗衣『批評の教室—チョウのように読み、ハチのように書く』ちくま新書，2021年
- ・瀬戸賢一『日本語のレトリック—文章表現の技法』岩波ジュニア新書，2002年

[社会と人間の探究]

指定図書：

- ・山田昌弘『新型格差社会』朝日新書，2021年
- ・森山至貴『LGBTを読みとく—クィア・スタディーズ入門』ちくま新書，2017年

[地域と環境の探究]

指定図書：

- ・宮崎雅人『地域衰退』岩波新書，2021年
- ・宇根豊『日本人にとって自然とはなにか』ちくまプリマー新書，2019年

III 第2次選考

- ①指定図書に関する小論文（テーマによっては、題材の中に英語を含むことがあります）
- ②口述試験（受験生が提出した課題レポート等についての質疑応答）を実施し、総合的に判定します。

日程	試験区分 (配点)	時間	実施場所
令和7(2025)年10月25日（土）	指定図書に関する小論文 (100点)	9:30～11:00 所要時間:90分	奈良女子大学構内 (奈良市北魚屋西町)
	口述試験 (100点)	12:30～	

※ 小論文試験実施場所及び口述試験実施時間等の詳細については、第2次選考の対象者の方に、個別にお知らせします。

IV 最終合否判定

第2次選考の結果によって最終合否判定を行い、最終合格発表をします（第1次選考結果の加算はしません）。なお合否判定は、テーマ別ではなく学部一括で行います。

入学後の学び

	ことばと人間の探究	社会と人間の探究	地域と環境の探究
入学前	合格後から「探究」の営みが始まります。合格者には入学前の指導をします。		
1年次	テーマごとの推奨科目にしたがって「探究」をします。		
2年次	言語文化学科または人間科学科に所属しながら「探究」を続けます。	人文社会学科または人間科学科に所属しながら「探究」を続けます。	人文社会学科に所属しながら「探究」を続けます。
3～4年次	日本アジア言語文化学コース、ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コース、教育学・人間学コースのうち、いずれかの履修コースを選択し「探究」を行います。	社会学コース、教育学・人間学コース、心理学コースのうち、いずれかの履修コースを選択し「探究」を行います。	地理学コース、社会学コースのうち、いずれかの履修コースを選択し「探究」を行います。

理 学 部

理学部 数物科学科

数物科学科では、数学と物理学が連携した基礎科学の専門教育を行います。その教育によって自分の専門分野に加えて他分野の知識も備え、新たな課題を発見し斬新な方法論を開拓できる人材を育てることを目指します。

なお、この総合型選抜 探究力入試「Q」には、受験区分（数学型、物理型）があります。いずれか一方の受験区分を選択して受験してください。「提出書類」の作文またはレポートは、選択した受験区分に関連する内容を中心に執筆してください。第2次選考では、受験区分に応じて、数学または物理学に関する総合的な口述試験を行います。

求める学生像

- ・ 数学や物理学に興味を持ち、それらの深い学問的素養や方法論を習得する意欲のある者。
- ・ 自然科学全般や語学に対しても興味を持ち、基礎的な素養を身につけている者。

高等学校等での要履修科目

- ・ この選抜単位への出願にあたっては、高等学校における必履修教科・科目等に加え、以下に指定した科目について、履修し単位を得ているか、入学時まで単位を取得見込みであることが必要です。
- ・ 「外国において学校教育における十二年の課程を修了した者」（学校教育法施行規則第150条第1号）等に該当する志願者あるいは要履修科目が開講されていない学校で教育課程を修了した者及び修了予定である志願者が指定科目を履修し単位を得ている（取得見込みを含む）と見なしうるかどうかについては、出願前に個別に時間的余裕をもって、本学入試課に問い合わせてください。

受験区分	要履修科目
数学型	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C
物理型	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cと、物理基礎・物理及び、(化学基礎・化学)、(生物基礎・生物)、(地学基礎・地学)の3組から1組

提出書類

① 調査書

文部科学省所定様式により、出身（在校中の）高等学校等（中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校高等部及び文部科学省が認定又は指定した在外教育施設高等部を含む。以下同じ。）の長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、既卒生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。いずれの場合も出願期間中に提出できる最新のものを提出してください。また、高等学校等卒業後相当の年数が経過している等により、調査書の発行を受けられない人は、卒業証明書及び成績証明書を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験合格者は「合格成績証明書」を提出してください。

国際バカロレア資格、アビトゥア資格又はフランスバカロレア資格を取得した人は、当該資格を証明する書類及び成績を証明する書類を提出してください。

前述以外の方は、高等学校段階に相当する学校の修了（見込）証明書及び成績証明書を提出してください。

② 数学もしくは物理学に関する作文またはレポート

選択した受験区分（数学型か物理型）に関連する内容を中心に執筆してください。様式は、本学ウェブサイト（<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>）からダウンロードしてください。また、様式にある注意事項をよく読み、書類を作成してください。

選考方法（数学型，物理型ともに共通）

下記の方法で選考を行います。

I 第1次選考

- ・提出書類により，総合的に判定します（100点満点）。
- ・書類選考ですので志願者はこの選考のために来学する必要はありません。
- ・なお，第1次選考の合否判定は，受験区分（数学型，物理型）にかかわらず，学科一括で行います。

II 第2次選考

数学もしくは物理学に関する作文またはレポートに記載した事項に対する質問を含む，数学もしくは物理学に関する総合的な口述試験を受験区分（数学型，物理型）に応じて実施し，総合的に判定します。

日程	試験区分 (配点)	時間	実施場所
令和7(2025)年10月25日（土）	口述試験 (200点)	9:00～	奈良女子大学構内 (奈良市北魚屋西町)

※ 受験者集合場所等口述試験の詳細については，第2次選考の対象者の方に，個別にお知らせします。

III 最終合否判定

第1次選考および第2次選考の結果を以下の配点に換算して合計し，これに基づいて最終合否判定を行い，最終合格発表をします。なお，最終合否判定は，受験区分（数学型，物理型）にかかわらず，学科一括で行います。

試験区分	第1次選考	第2次選考	合計
配点	100点	200点	300点

理学部 化学生物環境学科 化学コース

現代の化学では、基礎的学問分野がますます高度化するばかりでなく、非常に多彩な応用的研究が展開され、化学を取り巻く学際領域の高度化、多様化、複雑化が急速に進んでいます。このような状況のもと、化学コースでは、「自然の真理探究のための基礎力」と「グローバルに通用する応用力」をキーワードに、基礎から発展までの系統的な教育カリキュラムに基づく教育を通じて「化学」一般の確固とした基礎と柔軟な応用力を身につけ、その素養のもとに『自ら調べ、自ら考え、自ら判断できる能力』の伸長を目指しています。

求める学生像

- ・化学をはじめとする理科、英語、数学の基礎学力を身につけている者。
- ・読解力・理解力、論理的思考力、表現力を身につけている者。

高等学校等での要履修科目

- ・この選抜単位への出願にあたっては、高等学校における必履修教科・科目等に加え、以下に指定した科目について、履修し単位を得ているか、入学時まで単位を取得見込みであることが必要です。
- ・「外国において学校教育における十二年の課程を修了した者」（学校教育法施行規則第150条第1号）等に該当する志願者あるいは要履修科目が開講されていない学校で教育課程を修了した者及び修了予定である志願者が指定科目を履修し単位を得ている（取得見込みを含む）と見なしうるかどうかについては、出願前に個別に時間的余裕をもって、本学入試課に問い合わせてください。

数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cと、(物理基礎・物理)、(化学基礎・化学)、(生物基礎・生物)の3組から2組

提出書類

① 調査書

文部科学省所定様式により、出身（在校中の）高等学校等（中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校高等部及び文部科学省が認定又は指定した在外教育施設高等部を含む。以下同じ。）の長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、既卒生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。いずれの場合も出願期間中に提出できる最新のものを提出してください。また、高等学校等卒業後相当の年数が経過している等により、調査書の発行を受けられない人は、卒業証明書及び成績証明書を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験合格者は「合格成績証明書」を提出してください。

国際バカロレア資格、アビトゥア資格又はフランスバカロレア資格を取得した人は、当該資格を証明する書類及び成績を証明する書類を提出してください。

前述以外の人は、高等学校段階に相当する学校の修了（見込）証明書及び成績証明書を提出してください。

② 志望理由書

様式は、本学ウェブサイト(<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>)からダウンロードしてください。また、様式にある注意事項をよく読み、書類を作成してください。

③ 活動報告書

様式は、本学ウェブサイト(<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>)からダウンロードしてください。また、様式にある注意事項をよく読み、書類を作成してください。

選考方法

下記の方法で選考を行います。

I 第1次選考

- ・提出書類により，総合的に判定します（100点満点）。
- ・書類選考ですので志願者はこの選考のために来学する必要はありません。

II 第2次選考

資料をもとに与えられた課題についてのレポートの作成と口述試験により，総合的に判定します。

日程	試験区分 (配点)	時間	実施場所
令和7(2025)年10月25日(土)	レポート作成 (400点)	9:30~11:30 所要時間:120分	奈良女子大学構内 (奈良市北魚屋西町)
	口述試験 (100点)	13:00~	

※ 実施時間及び実施場所等の詳細については，第2次選考の対象者の方に，個別にお知らせします。

III 最終合否判定

第2次選考の結果によって最終合否判定を行い，最終合格発表をします。
(第1次選考結果の加算はしません)

理学部 化学生物環境学科 生物科学コース

地球上では、われわれヒトを含めて実に多様な生物がさまざまな生命活動を営んでいます。その姿を理解するためには、分子・細胞・個体・集団・生態系という多層的なレベルで生命現象を分析し、解析する力が必要です。一方で、バイオテクノロジー、生命倫理、環境問題など、生物科学に深く関わる問題に対して、近年さらなる取り組みが求められています。生物科学コースでは、幅広い視野のもとに生物および生命現象の多様な姿と普遍的な仕組みを理解でき、柔軟な発想のもとで生物科学に関わる諸問題に取り組める人材の育成を目標としています。

求める学生像

- ・生物が好きな者。
- ・実験の目的、方法を理解し、得られた結果から考察し、まとめて文書を完成することができる者。
- ・自分で考え、行動できる者。

高等学校等での要履修科目

指定科目はありません。

提出書類

① 調査書

文部科学省所定様式により、出身（在校中の）高等学校等（中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校高等部及び文部科学省が認定又は指定した在外教育施設高等部を含む。以下同じ。）の長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、既卒生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。いずれの場合も出願期間中に提出できる最新のものを提出してください。また、高等学校等卒業後相当の年数が経過している等により、調査書の発行を受けられない人は、卒業証明書及び成績証明書を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験合格者は「合格成績証明書」を提出してください。

国際バカロレア資格、アビトゥア資格又はフランスバカロレア資格を取得した人は、当該資格を証明する書類及び成績を証明する書類を提出してください。

前述以外の人は、高等学校段階に相当する学校の修了（見込）証明書及び成績証明書を提出してください。

② 志望理由書

様式は、本学ウェブサイト(<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>)からダウンロードしてください。また、様式にある注意事項をよく読み、書類を作成してください。

選考方法

下記の方法で選考を行います。

I 第1次選考

- ・提出書類により、総合的に判定します（100点満点）。
- ・書類選考ですので志願者はこの選考のために来学する必要はありません。

II 第2次選考

提示された生物実験の実施，結果のとりまとめ，および面接により総合的に判定します。なお，実験では顕微鏡等の機器を用いる場合があります。

日程	試験区分 (配点)	時間	実施場所
令和7(2025)年10月25日(土)	実験・結果の とりまとめ・ 面接(100点)	(実験) 9:00～11:30 所要時間：150分	奈良女子大学構内 (奈良市北魚屋西町)
		(結果のとりまとめ・面接) 13:00～	

※ 実施時間及び実施場所等の詳細については，第2次選考の対象者の方に，個別にお知らせします。

III 最終合否判定

第2次選考の結果によって最終合否判定を行い，最終合格発表をします。

(第1次選考結果の加算はしません)

理学部 化学生物環境学科 環境科学コース

現在の地球環境は、文明の発達に伴う人類の過度な活動によって、様々な問題に直面しています。これらの問題を正しく理解し、対策を講じるためには、従来の細分化された枠組みにとらわれない広範囲の知識と理解力、思考力が必要とされます。このような状況のもと、環境科学コースでは、学際的自然科学に対する分野横断的観点から、人類が直面する様々な環境問題を理解し、その解決に貢献できる人材育成を目指すことを基本理念としています。

求める学生像

環境科学を含む自然科学一般に関わる観察・観測や調査活動、保全活動などに真剣に取り組んできた者。

高等学校等での要履修科目

- ・この選抜単位への出願にあたっては、高等学校における必履修教科・科目等に加え、以下に指定した科目について、履修し単位を得ているか、入学時まで単位を取得見込みであることが必要です。
- ・「外国において学校教育における十二年の課程を修了した者」（学校教育法施行規則第150条第1号）等に該当する志願者あるいは要履修科目が開講されていない学校で教育課程を修了した者及び修了予定である志願者が指定科目を履修し単位を得ている（取得見込みを含む）と見なしうるかどうかについては、出願前に個別に時間的余裕をもって、本学入試課に問い合わせてください。

数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cと、(物理基礎・物理)、(化学基礎・化学)、(生物基礎・生物)、(地学基礎・地学)の4組から2組

提出書類

① 調査書

文部科学省所定様式により、出身（在校中の）高等学校等（中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校高等部及び文部科学省が認定又は指定した在外教育施設高等部を含む。以下同じ。）の長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、既卒生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。いずれの場合も出願期間中に提出できる最新のものを提出してください。また、高等学校等卒業後相当の年数が経過している等により、調査書の発行を受けられない人は、卒業証明書及び成績証明書を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験合格者は「合格成績証明書」を提出してください。

国際バカロレア資格、アビトゥア資格又はフランスバカロレア資格を取得した人は、当該資格を証明する書類及び成績を証明する書類を提出してください。

前述以外の人は、高等学校段階に相当する学校の修了（見込）証明書及び成績証明書を提出してください。

<留意事項>

調査書には、以下を記載してください。

- (1) 環境科学を含む自然科学一般に関わる観察・観測や調査活動、保全活動への取り組み方や活動実績についての所見／数学・理科に関する知識についての所見を記載してください。
- (2) また、数学検定や理科検定の資格があれば記載してください。

② 志望理由書

様式は、本学ウェブサイト(<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>)からダウンロードしてください。また、様式にある注意事項をよく読み、書類を作成してください。

③ 研究レポート

内容は、環境科学を含む自然科学一般に関わる観察・観測や調査活動、保全活動などに関するものとしてください。また、構成は次の通りとしてください：背景と目的・方法・結果・考察・まとめ。

様式は、本学ウェブサイト(<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>)からダウンロードしてください。また、様式にある注意事項をよく読み、書類を作成してください。

選考方法

下記の方法で選考を行います。

I 第1次選考

- ・提出書類により、総合的に判定します（100点満点）。
- ・書類選考ですので志願者はこの選考のために来学する必要はありません。

II 第2次選考

提出書類のうちの「研究レポート」について10分の発表を行った後、質疑応答を行います。なお、発表の際は、液晶プロジェクタ、もしくは、ポスターを使用してください。

液晶プロジェクタを使用する場合、パワーポイント形式もしくはPDF形式等の発表ファイルを用意し、発表ファイルを表示可能なノートパソコンを持参してください。プロジェクタとの接続はアナログRGB（DSUB 15pinコネクタ）もしくはデジタルHDMIとなります。プロジェクタによる発表の際には紙媒体の資料を見ての発表は出来ません。

ポスターを持参する場合、ポスターの大きさはA0サイズ（縦置き）以下とします。

日程	試験区分 (配点)	時間	実施場所
令和7(2025)年10月25日（土）	「研究レポート」についての 発表及び質疑応答 (200点)	9:00～	奈良女子大学構内 (奈良市北魚屋西町)

※ 実施時間及び実施場所等の詳細については、第2次選考の対象者の方に、個別にお知らせします。

III 最終合否判定

第2次選考の結果によって最終合否判定を行い、最終合格発表をします。

(第1次選考結果の加算はしません)

生活環境学部

生活環境学部 食物栄養学科

食物栄養学科は、管理栄養士、栄養教諭、食品衛生監視員・管理者の養成課程を設置し、食物・栄養分野において日本のリーダーとなる専門家の育成を目指しています。食物という身近な素材から人びとの健康増進や疾病予防を考え、食物の栄養性・機能性・嗜好性・安全性・食環境などについて、ライフサイエンスを基礎とした教育を行うとともに、病院や学校、保健所での実習を通じた実践的教育も行っています。その対象は、化学物質（DNA・タンパク質・脂質・ビタミン等）や細胞などのマイクロ分野から、個体、ヒト集団などのマクロ分野まで多岐にわたります。

求める学生像

- ・食や健康について興味を持ち、深く学び、将来、社会でその学びを生かしたいと強く考える者。
- ・食や健康に関する知識・情報などの収集・発信のための重要なスキルである英語の能力を、十分に身につけた者。

高等学校等での要履修科目

- ・この選抜単位への出願にあたっては、高等学校における必履修教科・科目等に加え、以下に指定した科目について、履修し単位を得ているか、入学時まで単位を取得見込みであることが必要です。
- ・「外国において学校教育における十二年の課程を修了した者」（学校教育法施行規則第150条第1号）等に該当する志願者あるいは要履修科目が開講されていない学校で教育課程を修了した者及び修了予定である志願者が指定科目を履修し単位を得ている（取得見込みを含む）と見なしうるかどうかについては、出願前に個別に時間的余裕をもって、本学入試課に問い合わせてください。

化学基礎・化学

提出書類

① 調査書

文部科学省所定様式により、出身（在校中の）高等学校等（中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校高等部及び文部科学省が認定又は指定した在外教育施設高等部を含む。以下同じ。）の長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、既卒生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。いずれの場合も出願期間中に提出できる最新のものを提出してください。また、高等学校等卒業後相当の年数が経過している等により、調査書の発行を受けられない人は、卒業証明書及び成績証明書を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験合格者は「合格成績証明書」を提出してください。

国際バカロレア資格、アビトゥア資格又はフランスバカロレア資格を取得した人は、当該資格を証明する書類及び成績を証明する書類を提出してください。

前述以外の方は、高等学校段階に相当する学校の修了（見込）証明書及び成績証明書を提出してください。

② 学習研究計画書

高等学校でどのように学んだかを述べた上で、食物栄養学科でどのように学び、研究し、将来、どのように仕事に活かしていくかについて記載してください。様式は、本学ウェブサイト（<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>）からダウンロードしてください。また、様式にある注意事項をよく読み、書類を作成してください。

③ 各種技能または入賞等のエビデンス

各種技能検定の成績や段・級などの証明書（成績表や賞状等のコピー）、または各種コンテスト入賞や表彰などについてのエビデンス（賞状等のコピーや賞を受けた研究成果等）があれば、任意で提出を認めます。「エビデンス」は、英語、探究活動、課外活動など、食物に直接関するものでなくてもかまいません。

選考方法

下記の方法で選考を行います。

I 第1次選考

- ・提出書類により、総合的に判定します（200点満点）。
- ・書類選考ですので志願者はこの選考のために来学する必要はありません。

II 第2次選考

科学的な内容の文書（英語を含む場合がある）、実験データなどを読み、小論文を作成するとともに、作成した小論文について、ホワイトボードを用いたプレゼンテーションおよび質疑応答を行い、総合的に判定します。小論文作成の時間には、プレゼンテーションの準備の時間を含みます。なお、プレゼンテーションおよび質疑応答は志願者1人ずつと行います。質疑応答は「小論文・プレゼンテーションの内容に関連する質問のみ」とします。

日程	試験区分 (配点)	時間	実施場所
令和7(2025)年10月25日（土）	小論文 (200点)	9:00～ 小論文作成およびプレゼンテーション準備を60分、プレゼンテーションおよび質疑応答を25分とします。 集合時刻・試験開始時刻は受験生によって異なります。試験終了後も待機いただく場合があります。	奈良女子大学構内 (奈良市北魚屋西町)
	プレゼンテーション および質疑応答 (200点)		

※ 実施時間及び実施場所等の詳細については、第2次選考の対象者の方に、個別にお知らせします。

III 最終合否判定

第2次選考の結果によって最終合否判定を行い、最終合格発表をします。
(第1次選考結果の加算はしません)

生活環境学部 心身健康学科

心身健康学科は、生活と「こころとからだの健康」をキーワードとし、身近な生活環境、社会環境、生活習慣と心身の健康との関連に関する幅広い知識と健康の維持増進の実践力を持った人材の育成を目指しています。「こころとからだの健康」に関する知識を総合的に学ぶため、心身健康学科には、生活健康学コース・スポーツ健康科学コース・臨床心理学コースの3コースが設置されています。生理学、心理学、体育学、スポーツ科学、生活環境や人間工学などの視点から学生が健康について総合的に学ぶことができるよう配慮し、各コースでより専門性の高い教育を行っています。

求める学生像

- ・常に疑問を持ち、それを解決するために能動的に正確な情報を収集することができる者。
- ・論理的、定量的に物事を考えることができる者。
- ・国際的視点で社会の問題について考えることができる者。

高等学校等での要履修科目

指定科目はありません。

提出書類

① 調査書

文部科学省所定様式により、出身（在校中の）高等学校等（中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校高等部及び文部科学省が認定又は指定した在外教育施設高等部を含む。以下同じ。）の長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、既卒生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。いずれの場合も出願期間中に提出できる最新のものを提出してください。また、高等学校等卒業後相当の年数が経過している等により、調査書の発行を受けられない人は、卒業証明書及び成績証明書を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験合格者は「合格成績証明書」を提出してください。

国際バカロレア資格、アビトゥア資格又はフランスバカロレア資格を取得した人は、当該資格を証明する書類及び成績を証明する書類を提出してください。

前述以外の方は、高等学校段階に相当する学校の修了（見込）証明書及び成績証明書を提出してください。

<留意事項>

各種資格・検定・コンテストや競技成績の実績を記載する場合は、成績証明書等のコピーを添付してください。

② 志望理由書

様式は、本学ウェブサイト(<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>)からダウンロードしてください。また、様式にある注意事項をよく読み、書類を作成してください。

③ 小論文

生活健康学・スポーツ健康科学・臨床心理学各コースから提示された下記の課題のうち、1題（1コース分）を選択し、様式にある注意事項をよく読み、書類を作成してください。

様式は、本学ウェブサイト(<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>)からダウンロードしてください。また、様式にある注意事項をよく読み、書類を作成してください。

・生活健康学コース【課題名：生活環境と健康】

生活習慣病は、健康長寿の最大の阻害要因となるだけでなく、国民医療費にも大きな影響を与えていると言われています。その多くは、不健全な生活の積み重ねから来ていると考えられていますが、健康を保つための生活習慣の見直しと予防の観点からのアプローチについて考察してください。

・スポーツ健康科学コース【課題名：運動・体育・スポーツ】

2022年、スポーツ庁の諮問により「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」が出されました。それを受けて現在、中学校の運動部活動を地域で行う、いわゆる地域移行が検討されています。この施策が、子どもの心身に対して中長期的にもたらす様々な影響について論じてください。

・臨床心理学コース【課題名：こころとからだ】

ウェルビーイング (well-being) とは、こころとからだが良好な状態であることだけでなく、社会の状態も含めて良好な状態にあることを表す概念です。生活するコミュニティが人の心身の健康に及ぼす影響について具体例を挙げて、それに対してどのような取り組みが可能か論じてください。

選考方法

下記の方法で選考を行います。

I 第1次選考

- ・提出書類により、総合的に判定します（100点満点）。
- ・書類選考ですので志願者はこの選考のために来学する必要はありません。

II 第2次選考

小論文で選択しなかった2つのコース課題から1つを選択し、プレゼンテーションを行い（質疑応答を含め、各人30分程度）、総合的に判定します。プレゼンテーションはポスターを用いた説明により実施していただきます。ポスターは各自で作成し、当日持参してください。ポスターの大きさはA0サイズ（縦置き）を超えないようにしてください（ポスターが複数枚からなる場合は、それらを並べた大きさの合計がA0サイズ（縦置き）を超えないようにしてください）。

日程	試験区分（配点）	時間	実施場所
令和7(2025)年10月25日（土）	プレゼンテーションおよび 質疑応答 (200点)	9:00～	奈良女子大学構内 (奈良市北魚屋西町)

※ 実施時間及び実施場所等の詳細については、第2次選考の対象者の方に、個別にお知らせします。

III 最終合否判定

第1次選考および第2次選考の結果を以下の配点に換算して合計し、これに基づいて最終合否判定を行い、最終合格発表をします。

試験区分	第1次選考	第2次選考	合計
配点	100点	200点	300点

生活環境学部 住環境学科

住環境学科は、生活や生活環境の企画・設計に関わるデザインや技術開発の能力、実務を遂行する能力をもつ人材の養成を目指しています。住環境学は、急速な社会変化をふまえて、ヒューマンスケールで環境を捉え、生活者の視点にたつて、豊かで質の高い住環境を実現することを目指す領域です。したがって、住まい・地域・都市の計画・デザイン、音・光・熱・空気などの環境・設備、建物を支える構造・工法、建物をつくりだし維持する生産・施工・材料・管理の各分野を体系的に学び、社会が求める問題解決能力、実践的な創造力を身につけることを目標にしています。

求める学生像

幅広い教養と基本的な論理力を持ち、住まいづくり・地域づくりに興味があり、将来それらの分野の専門的職業人として活躍したいという積極的姿勢をもつ者。

高等学校等での要履修科目

指定科目はありません。

提出書類

① 調査書

文部科学省所定様式により、出身（在校中の）高等学校等（中等教育学校，高等専門学校，特別支援学校高等部及び文部科学省が認定又は指定した在外教育施設高等部を含む。以下同じ。）の長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、既卒生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。いずれの場合も出願期間中に提出できる最新のものを提出してください。また、高等学校等卒業後相当の年数が経過している等により、調査書の発行を受けられない人は、卒業証明書及び成績証明書を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験合格者は「合格成績証明書」を提出してください。

国際バカロレア資格，アビトゥア資格又はフランスバカロレア資格を取得した人は，当該資格を証明する書類及び成績を証明する書類を提出してください。

前述以外の方は，高等学校段階に相当する学校の修了（見込）証明書及び成績証明書を提出してください。

② 志望理由書

様式は，本学ウェブサイト（<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>）からダウンロードしてください。また，様式にある注意事項をよく読み，書類を作成してください。

選考方法

下記の方法で選考を行います。

I 第1次選考

- ・提出書類により，総合的に判定します（100点満点）。
- ・書類選考ですので志願者はこの選考のために来学する必要はありません。

II 第2次選考

与えられたデータや資料を読み、その場で提示される特定の課題に対しての問題解決能力を問うものです。データや資料の処理方法や立論を展開する創造力・理解力、そして議論するためのコミュニケーション能力・教養を問うディスカッションを、教員との間で行い、総合的に判断します。ディスカッションは志願者1人ずつと行う形式とします。

日程	試験区分 (配点)	時間	実施場所
令和7(2025)年10月25日(土)	データや資料の読み取り, ディスカッション (100点)	9:00～	奈良女子大学構内 (奈良市北魚屋西町)

※ 実施時間及び実施場所等の詳細については、第2次選考の対象者の方に、個別にお知らせします。

III 最終合否判定

第2次選考の結果によって最終合否判定を行い、最終合格発表をします。
(第1次選考結果の加算はしません)

生活環境学部 文化情報学科 生活文化学コース

生活文化学コースは、人文・社会科学領域の幅広い知識と深い専門性を身につけ、課題解決や新たな価値を創造する力、さらにコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を修得し、SDGsの達成を志向し生活の「未来」を創造できる女性人材の養成を目指しています。そのため、社会学・歴史学・ジェンダー研究・法学・経済学・社会心理学・表象論など多様な分野を取りそろえ、学際性豊かな教育環境を提供しています。また、フィールド調査・アンケート分析・ディベート・文献講読等の教育方法を通じて、歴史的視野と国際的視野を広げ、積極性・主体性を陶冶することを目標にしています。

求める学生像

- ・文理を問わない幅広い関心を有している者。
- ・国際問題や時事問題に関心がある者。
- ・課題発見・問題解決能力の涵養を目指している者。

高等学校等での要履修科目

指定科目はありません。

提出書類

① 調査書

文部科学省所定様式により、出身（在校中の）高等学校等（中等教育学校，高等専門学校，特別支援学校高等部及び文部科学省が認定又は指定した在外教育施設高等部を含む。以下同じ。）の長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、既卒生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。いずれの場合も出願期間中に提出できる最新のものを提出してください。また、高等学校等卒業後相当の年数が経過している等により、調査書の発行を受けられない人は、卒業証明書及び成績証明書を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験合格者は「合格成績証明書」を提出してください。

国際バカロレア資格，アビトゥア資格又はフランスバカロレア資格を取得した人は，当該資格を証明する書類及び成績を証明する書類を提出してください。

前述以外の人は，高等学校段階に相当する学校の修了（見込）証明書及び成績証明書を提出してください。

外部の外国語試験（英検，TOEIC，IELTS，TOEFL，GTECなど）の実績がある場合は，受験結果を記載し，成績証明書等のコピーを添付してください。

② 学習研究計画書

様式は，本学ウェブサイト（<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>）からダウンロードしてください。また，様式にある注意事項をよく読み，書類を作成してください。必ず興味のあるテーマ・問題について言及してください。

選考方法

下記の方法で選考を行います。

I 第1次選考

- ・提出書類により，総合的に判定します（100点満点）。
- ・書類選考ですので志願者はこの選考のために来学する必要はありません。

II 第2次選考

高校の間に受験者自身が探求した、生活文化学に関わる内容についてプレゼンテーションを行い、それに基づく質疑応答を行います。プレゼンテーションの時間は1人15分以内とします。質疑応答を含めた全体での時間は1人30分程度です。

試験会場にはパソコン（Windows）、プロジェクタ、スクリーンの機材を用意します。プレゼンテーションはパワーポイントを用いてあらかじめ作成し、パワーポイント形式及びPDF形式の両方で保存してUSBメモリに格納した上で、試験会場に持参して下さい。ファイルはWindowsパソコンで表示できることをあらかじめ確認して下さい。自身のノートパソコンを試験会場に持ち込むことも可能です。プロジェクタとの接続はHDMI形式となります。

USBメモリに格納したパワーポイントのファイルと共に、配付資料を用意して下さい。配付資料は、パワーポイントのスライドを横置きで1ページあたり4スライド割付とし、A4サイズで両面印刷したものを5部用意して下さい。最大6ページ以内とします。

日程	試験区分 (配点)	時間	実施場所
令和7(2025)年10月25日(土)	プレゼンテーション および質疑応答 (100点)	10:00～	奈良女子大学構内 (奈良市北魚屋西町)

※ 実施時間及び実施場所等の詳細については、第2次選考の対象者の方に、個別にお知らせします。

III 最終合否判定

第2次選考の結果によって最終合否判定を行い、最終合格発表をします。

(第1次選考結果の加算はしません)

生活環境学部 文化情報学科 生活情報通信科学コース

生活情報通信科学コースは、現代社会のIT基盤を構成しつつあるライフ・コンピューティングに焦点をあて、ライフ・コンピューティングに関する社会的背景と諸問題に取り組み、これを改善できる能力を身につけた人材の育成を目指しています。そのため、情報分野の基礎である情報理論、コンピュータハードウェアならびにプログラミングについて学びます。さらにシステムという観点から、コンピュータの構成とその上で動作するアプリケーションに関する知識と理解力を身につけると同時に、そのようなシステムを設計開発する手順についての理解を深めます。そして、人工知能技術を含む先進的なIT技術とその応用方法を学習します。

求める学生像

技術力、発想力、情報収集能力、開発能力、説明能力のある者。

高等学校等での要履修科目

指定科目はありません。

提出書類

① 調査書

文部科学省所定様式により、出身（在校中の）高等学校等（中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校高等部及び文部科学省が認定又は指定した在外教育施設高等部を含む。以下同じ。）の長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、既卒生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。いずれの場合も出願期間中に提出できる最新のものを提出してください。また、高等学校等卒業後相当の年数が経過している等により、調査書の発行を受けられない人は、卒業証明書及び成績証明書を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験合格者は「合格成績証明書」を提出してください。

国際バカロレア資格、アビトゥア資格又はフランスバカロレア資格を取得した人は、当該資格を証明する書類及び成績を証明する書類を提出してください。

前述以外の人は、高等学校段階に相当する学校の修了（見込）証明書及び成績証明書を提出してください。

② 志望理由書

様式は、本学ウェブサイト(<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>)からダウンロードしてください。また、様式にある注意事項をよく読み、書類を作成してください。

③ 作品概要書

第2次選考でのプレゼンテーションで説明を行う予定の自分の作品に関する概要ならびにアピールポイントをA4判2枚以内で記述（図および写真の貼り込み可）してください。様式は、本学ウェブサイト(<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>)からダウンロードしてください。また、様式にある注意事項をよく読み、書類を作成してください。

選考方法

下記の方法で選考を行います。

I 第1次選考

- ・提出書類により、総合的に判定します（100点満点）。
- ・書類選考ですので志願者はこの選考のために来学する必要はありません。

II 第2次選考

受験者各自が当日持参したプロジェクタ映像または配布資料に基づき、自ら作製した計算機関連の作品に関するプレゼンテーションおよび質疑応答を行い、総合的に判定します。

上記により、技術力・発想力・情報収集能力・開発能力・説明能力等を測り評価します。作品は何らかの意味で計算機に関連したものとします。ただし、プログラムであるかハードウェアであるかデジタルコンテンツ（例えば、ウェブページの記述、CG画像、3Dモデリング、計算機で高度に画像編集された動画等）であるかは問いません。デジタルコンテンツの場合であっても、技術的先進性が高いと判断したものをより高く評価します。デジタルコンテンツの芸術性を評価することもあります。

プレゼンテーションの発表時間は最大10分間、発表に基づく質疑応答時間を約10分間で行います。発表時間が11分を越えた場合は、発表が途中であっても打ち切ります。

プレゼンテーションにおいては、作品の説明、作品のアピールポイントの紹介、作製において工夫した点、苦勞した点の紹介、技術的な先進性の説明等を行って下さい。複数の人間の手による共同作品の場合には、自分が担当した部分を中心に説明して下さい。既に提出してある作品概要書との内容の重複は気にする必要はありません。第2次選考のプレゼンテーションのみで作品の紹介を完結させて下さい。

プロジェクタ画像を投影しながらプレゼンテーションを行うことを希望する受験者のために、試験会場にパソコン（Windows）、プロジェクタ、スクリーンの機材を用意します。ただし、大学側で用意したパソコンの上では、パワーポイントとPDFの表示再生しか保証しません。パワーポイント形式もしくはPDF形式のプレゼンテーションデータであれば、USBメモリに格納して試験会場に持って来て下さい。それら以外の形式のデータを利用した映写を希望する受験者は、自分の用意したデータが表示再生可能な機材（ノートパソコン等）を持参して下さい。なお、プロジェクタとの接続はHDMIコネクタとなります。希望者にはレーザーポインタを貸与します。プロジェクタ投影を希望する受験者であっても、機材のトラブル等で映写ができない場合がありますので、次に述べる配布資料も用意して下さい。

配布資料はA4片面印刷で8ページ以内の物を6部（1部は発表者控え）用意して下さい。最大ページ数が2ページから8ページに変更された以外は、記載内容は「作品概要書の趣旨と作成方法」※に準じています。プロジェクタによる投影を行わずに配布資料に基づいた発表を行ってもらっても構いません。プロジェクタ投影がない場合は、試験室を暗くすることはありません。

※本学ウェブサイト(<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>)に掲載してあります。

日程	試験区分 (配点)	時間	実施場所
令和7(2025)年10月25日(土)	プレゼンテーションおよび 質疑応答 (100点)	9:00～	奈良女子大学構内 (奈良市北魚屋西町)

※ 実施時間及び実施場所等の詳細については、第2次選考の対象者の方に、個別にお知らせします。

III 最終合否判定

第2次選考の結果によって最終合否判定を行い、最終合格発表をします。

(第1次選考結果の加算はしません)

工学部

工学部 工学科

工学部では、課題発見やニーズ創出を行う際に必要となる主体的な学修態度を身につけ、幅広い教養に基づいて多様な課題を理解して対応できる人（主体性と理解力）、サービスも含めた「モノづくり」において、自身の専門知識と技術を駆使して、問題解決に対応できる人（専門性と問題解決力）、社会への影響なども考慮しながらチームで協働し、異分野間でも効果的なコミュニケーションができる人（社会性と波及力）を育成することを目的としています。工学部の探究力入試「Q」では、2つの選抜方法（Q²型、Q³型）でそれぞれ特色のある学生を求めています。

奈良女子大学での工学の学びと特徴について理解を深めるための情報を、工学部ウェブサイト公開します。

<Q²型（スクエア）>

求める学生像

- ・人の生活を豊かにする方法に興味をもち、現代的技術を使って実現したいと望む人。
- ・科学技術分野への興味と意欲があり、多様な人々と協働する姿勢のある人。
- ・読解力・理解力、論理的思考力、表現力を身につけている人。

高等学校等での要履修科目

指定科目はありません。

提出書類

① 調査書

文部科学省所定様式により、出身（在校中の）高等学校等（中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校高等部及び文部科学省が認定又は指定した在外教育施設高等部を含む。以下同じ。）の長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、既卒生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。いずれの場合も出願期間中に提出できる最新のものを提出してください。また、高等学校等卒業後相当の年数が経過している等により、調査書の発行を受けられない人は、卒業証明書及び成績証明書を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験合格者は「合格成績証明書」を提出してください。

国際バカロレア資格、アビトゥア資格又はフランスバカロレア資格を取得した人は、当該資格を証明する書類及び成績を証明する書類を提出してください。

前述以外の方は、高等学校段階に相当する学校の修了（見込）証明書及び成績証明書を提出してください。

② 志望理由書

様式は、本学ウェブサイト（<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>）からダウンロードしてください。

また、様式にある注意事項をよく読み、書類を作成してください。

選考方法

下記の方法で選考を行います。

I 第1次選考

- ・提出書類により、総合的に判定します（100点満点）。
- ・書類選考ですので志願者はこの選考のために来学する必要はありません。

II 第2次選考

データや資料の処理作業，ディスカッション，レポートによって，基礎学力，科学技術分野への興味と意欲，技術者としての適性或主体性，多様な人々と協働する姿勢などを多面的に評価します。また，データや資料の処理方法に基づく立論を展開する創造力・理解力，そして議論するためのコミュニケーション能力・教養を問うディスカッションを行い，総合的に判断します。

日程	試験区分（配点）	時間	実施場所
令和7(2025)年10月11日（土）	データ・資料の分析（100点）	13:00～17:00 （終了時刻は予定）	奈良女子大学構内 （奈良市北魚屋西町）
令和7(2025)年10月12日（日）	レポート作成（100点） ディスカッション（グループ・個別）（200点）	9:00～13:00 （終了時刻は予定）	

※ 実施時間及び実施場所等の詳細については，第2次選考の対象者の方に，個別にお知らせします。
なお，第2次選考は2日とも出席を要します。

III 最終合否判定

第2次選考の結果によって最終合否判定を行い，最終合格発表をします。
（第1次選考結果の加算はしません）

<Q³型 (キューブ) >

求める学生像

- ・ 創意，発見する知の探究マインドを持っている人。
- ・ 主体的に学び，考え，実行し，反省することができる人。
- ・ 読解力・理解力，論理的思考力，表現力を身につけている人。

高等学校等での要履修科目

指定科目はありません。

提出書類

① 調査書

文部科学省所定様式により，出身（在校中の）高等学校等（中等教育学校，高等専門学校，特別支援学校高等部及び文部科学省が認定又は指定した在外教育施設高等部を含む。以下同じ。）の長が作成し，厳封したものを提出してください。なお，既卒生については，従前の様式による調査書の提出を認めます。いずれの場合も出願期間中に提出できる最新のものを提出してください。また，高等学校等卒業後相当の年数が経過している等により，調査書の発行を受けられない人は，卒業証明書及び成績証明書を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験合格者は「合格成績証明書」を提出してください。

国際バカロレア資格，アビトゥア資格又はフランスバカロレア資格を取得した人は，当該資格を証明する書類及び成績を証明する書類を提出してください。

前述以外の方は，高等学校段階に相当する学校の修了（見込）証明書及び成績証明書を提出してください。

② 志望理由書

様式は，本学ウェブサイト（<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>）からダウンロードしてください。また，様式にある注意事項をよく読み，書類を作成してください。

③ 研究計画書

様式は，本学ウェブサイト（<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/download/index.html>）からダウンロードしてください。また，様式にある注意事項をよく読み，書類を作成してください。

選考方法

下記の方法で選考を行います。

I 第1次選考

- ・ 提出書類により，総合的に判定します（100点満点）。
- ・ 書類選考ですので志願者はこの選考のために来学する必要はありません。

II 第2次選考

受験者が当日持参したプロジェクト映像またはポスターなどで，研究計画書に基づくプレゼンテーションおよび質疑応答を行い，総合的に判定します。

研究計画書とそのプレゼンテーションにより，課題創造力・科学的論理力・情報収集能力・事象理解力・説明能力等を評価します。

日程	試験区分 (配点)	時間	実施場所
令和7(2025)年10月25日 (土)	研究計画書に基づくプレゼンテーション及び質疑応答 (100点)	13:00~17:00 (終了時刻は予定)	奈良女子大学構内 (奈良市北魚屋西町)

※ 実施時間及び実施場所等の詳細については、第2次選考の対象者の方に、個別にお知らせします。

プレゼンテーションについて

プレゼンテーションの形式は自由としますが、発表時間は最大10分間（厳守）、質疑応答時間は約15分間です。物を持ち込む場合は一人で運べるサイズのものとしします。試験会場での電源使用は可能です。

(1) プロジェクタ映像を使用する場合

- ・試験会場にはパソコン (Windows)、プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーンの機材を用意します。
- ・機材は、パワーポイントとPDFの表示再生を保証しますので、利用者は各データをUSBメモリに格納して試験会場に持参してください。
- ・HDMIを利用できるノートパソコン等を持参し利用しても構いませんが、表示再生については、自己の責任で行ってください。
- ・発表で使用するデータをA4サイズ8ページ以内にまとめ、片面印刷して5部を当日提出してください。

(2) ポスターを使用する場合

- ・ポスターは各自で作成し、当日持参してください。
- ・ポスターの枚数は自由ですが、合わせた大きさはA0サイズ (縦置き) を超えないようにしてください。
- ・発表で使用するポスターをA3サイズ1ページにまとめ、印刷して5部を当日提出してください。

Ⅲ 最終合否判定

第1次選考および第2次選考の結果を以下の配点に換算して合計し、これに基づいて最終合否判定を行い、最終合格発表をします。

試験区分	第1次選考	第2次選考	合計
配点	100点	100点	200点

6. 出願手続

以下の出願手続は、どの選抜単位を志望する場合にも適用されます。

(1) 事前準備

総合型選抜の出願は、Web出願のみとします。事前準備として、以下のものをご用意ください。

- ① インターネットに接続されたパソコン（スマートフォン、タブレットは非推奨）
 - ② プリンター（カラーが望ましい※）
 - ③ A4サイズ（210mm×297mm）の用紙
 - ④ 出願書類提出用封筒（市販の角形2号（240mm×332mm）を購入してください。）
 - ⑤ 写真2枚（写真票と受験票用）
 - ⑥ 提出書類
- ） 詳細は、「(3) 出願書類等の準備と郵送」を参照のこと。

（「5. 求める学生像，提出書類，選考方法等（選抜単位別）」（文学部：5～8ページ，理学部：9～16ページ，生活環境学部：17～26ページ，工学部：27～30ページ）において指定された，選抜単位ごとの提出書類）

※モノクロプリンターしか用意できない場合は，後述の出願書類提出用宛名シートの朱書き部分を，赤の油性マジックでなぞった上で発送してください。

(2) 出願内容の登録及び入学検定料の支払い（入学検定料17,000円）

入学志願者は，本学のWeb出願サイト（<https://e-apply.jp/ds/nara-wu/>）より出願内容を登録し，入学検定料を支払ってください。支払方法は，クレジットカード，ネットバンキング，コンビニエンスストア，ペイジー対応銀行ATMのいずれかから選択が可能です。入学検定料の支払いに必要な手数料は志願者負担とします。

登録する連絡先は，出願時から入学決定時までの間，志願者本人に最も迅速，確実に連絡できるものを入力してください。出願後に転居等により変更が生じた場合は，入試課に連絡してください。

TEL 0742-20-3353 E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp

（件名が空欄の場合，正しく届かないことがあります。）

登録完了後は，内容の修正・変更ができませんので，誤入力の無いよう十分注意してください。Web出願の流れについては，34ページを参照してください。なお，出願内容の登録及び入学検定料の支払いができるのは，32ページ「7. 出願期間」で定める期限の前日までです。

◆Web出願時に入力できる文字について

出願内容登録画面において，一部入力を受付できない文字があります。原則として，JIS第2水準までに含まれない文字が対象となり，該当する文字を入力した際は，「次へ」をクリックしても「登録できない文字が含まれます」という表示が出て，次に進むことができません。この表示が出た場合は，下図の例にならない，受付できない文字を常用漢字等に置き換えて入力してください。置き換えられる文字が無い場合は，カタカナで入力してください。

図：入力できない漢字の置き換え例

吉	→	吉	藤	→	藤	静	→	静
濱	→	濱又は浜	今	→	今	真	→	真
邊	→	邊又は辺	辻	→	辻	禮	→	禮
邊	→	邊又は辺	廣	→	廣又は広	土・土	→	土

※『國，櫻，藏，簀，藪，來，彗，瀧，澤，淵，萬，圓，條』等はJIS第2水準までに含まれますので，置き換え不要です。『高，崎，德，彌，塚，濱』等はJIS第2水準までには含まれませんが，例外として受付可能な文字となります。置き換えせず，そのまま入力してください。

(3) 出願書類等の準備と郵送

入学検定料支払い後、以下に掲げる1, 2, 4の書類をダウンロードし、「(1) 事前準備」で用意したA4サイズ用の紙に縦方向で印刷してください。この時、ページの拡大又は縮小は行わないでください。

「(1) 事前準備」で用意した出願書類提出用封筒に、出願書類提出用宛名シートを貼り付け、1から3の書類を一括して入れ、出願期間内（下記7.参照）に必着するよう「簡易書留速達」郵便により郵送（持参不可）してください。

番号	書類名等	留意事項
1	入学志願票	出願登録時に入力した内容が反映されます。A4サイズ用の紙に印刷してください。
2	写真票	出願登録時に入力した内容が反映されます。A4サイズ用の紙に印刷し、点線に沿って切り取ってください。 写真は縦4cm×横3cm、無背景、上半身無帽正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものとします。裏面に氏名を記載した上で、所定の箇所に糊等で貼り付けてください。 また、この時使用した写真と同一の写真を、後日 Web 出願システムよりダウンロードして印刷する受験票に貼り付ける必要があります。詳しくは、後述の「8. 受験票の印刷と写真貼付」を参照してください。
3	提出書類	「5. 求める学生像、提出書類、選考方法等(選抜単位別)」(文学部：5～8ページ、理学部：9～16ページ、生活環境学部：17～26ページ、工学部：27～30ページ)において指定された、選抜単位ごとの提出書類。
4	出願書類提出用宛名シート	A4サイズ用の紙に、できるだけカラーで印刷してください。(モノクロ印刷しできない場合は、朱書き部分を赤の油性マジックでなぞってください。)市販の角形2号(240mm×332mm)の封筒に貼り付け、1から3の書類を一括して入れ、出願期間内(下記7.参照)に必着するよう「簡易書留速達」により郵送してください。

7. 出願期間

【文学部・工学部Q²型(スクエア)】

令和7(2025)年 9月1日(月)～ 9月5日(金) 必着

ただし、9月4日(木)以前の発信局(日本国内)消印のある「簡易書留速達」郵便に限り(持参不可)、期限後に到着した場合でも受理します。

Web登録・入学検定料支払い可能期間

令和7(2025)年8月25日(月)10時～9月4日(木)23時59分(日本時間)

【理学部・生活環境学部・工学部Q³型(キューブ)】

令和7(2025)年 9月1日(月)～ 9月9日(火) 必着

ただし、9月8日(月)以前の発信局(日本国内)消印のある「簡易書留速達」郵便に限り(持参不可)、期限後に到着した場合でも受理します。

Web登録・入学検定料支払い可能期間

令和7(2025)年8月25日(月)10時～9月8日(月)23時59分(日本時間)

8. 受験票の印刷と写真貼付

受験票は、出願期間終了後、全ての出願者の出願内容を確認次第、一斉に本人宛てに受験票ダウンロードの準備が完了した旨をメールで連絡しますのでWeb出願システムよりダウンロードして、印刷してください。なお、メールが令和7(2025)年9月18日(木)までに到着しない場合は、直ちに奈良女子大学入試課に連絡してください。

TEL 0742-20-3353 E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp

(件名が空欄の場合、正しく届かないことがあります。)

ダウンロードして印刷した受験票に、前述の「6. 出願手続(3) 出願書類等の準備と郵送」に記載された写真票に貼り付けた写真と同じ写真を貼り付けて、試験当日持参してください。

9. 出願にあたっての注意事項

(1) 出願内容の登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは、出願手続完了ではありません。

出願に必要な書類等を郵送する必要があります。前述の「7. 出願期間」をよく確認し、郵送に必要な日数を考慮したうえで、期限に間に合うように手続をしてください。

(2) 必ず志願者本人が、所要事項を入力又は記入してください。

(3) 前述の「4. 出願資格」に記載のとおり、本学において学びたいという強い意欲を有し、合格した場合には入学することを確約できる人が出願してください。

(4) 出願書類受理後は、いかなる事情があっても書類の返却、記載事項の変更及び修正は認めません。ただし、出願後に現住所及び連絡先を変更した場合は、ただちにその旨を入試課に連絡してください。

(5) 既納の検定料は、次の場合を除き返還しません。

- ① 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

なお、上記①又は②に該当する場合には、奈良女子大学入試課に連絡してください。

TEL 0742-20-3353 E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp

(件名が空欄の場合、正しく届かないことがあります。)

(6) 第1次選考不合格者には、申し出により第1次選考に係る検定料相当額4,000円を控除した残額を返還します。

(7) (5) (6) により検定料を返還するにあたっては、本人からの申し出に基づき、本学所定の方法により返還します。なお、返還には相当の期間を要しますので、あらかじめご承知おきください。

(8) 出願書類に不備がある場合には、受理しないので十分注意してください。

(9) 出願書類に虚偽の入力又は記入をした者に対しては、入学後でも入学を取り消すことがあります。

(10) 大学が取得した氏名、成績及び学修状況等の個人情報、入学後の修学指導並びに学生生活支援等のために必要な範囲内で利用することがあります。

Web出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)
出願書類は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

各種証明書・調査書など
写真×2枚 (写真票と受験票用)

STEP 2 Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/nara-wu/>
または、
大学ホームページ ▶ <http://www.nara-wu.ac.jp/entrance.html>
からアクセス

STEP 3 マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

- ①初めに登録する方は「マイページ登録」からログインしてください。
- ②メールアドレスを入力し、「個人情報取扱方針」を確認の上、「仮登録メールを送信」をクリックしてください。
※@e-apply.jpの外ドメインからのメールを受信できるように設定してください。
- ③ユーザー登録画面から「ログインページへ」をクリックしてください。
- ④登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
- ⑤ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた「初期パスワード」にて「ログイン」をクリックしてください。
- ⑥初期パスワードの変更を行ってください。
- ⑦表示された個人情報を入力して「次へ」をクリックしてください。
- ⑧個人情報を確認して「この内容で登録する」をクリックしてください。

⑨登録完了となります。
マイページへ をクリックしてください。

⑩上記ページが表示されたらマイページ登録は完了です。
※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続きに進めます。登録期間外の場合は、こちらより先に進めませんので **ログアウト** ボタンを押してください。

STEP 4 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①マイページログイン後の**出願手続きを行う** ボタンから登録画面へ

②入試区分の選択と留意事項の確認

③志望学部等の選択

④個人情報の確認及び入力
※氏名住所等はマイページで登録した内容が反映されます。

⑤出願内容の確認
出願書類(PDF)サンプル ボタンをクリックすると入学志願票等が確認できます。

⑥申込登録完了
引き続き支払う ボタンをクリックし検定料のお支払い画面へ。

⑦入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンク ●クレジットカード

⑧出願に必要な書類PDF(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控え、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合	
払込票番号メモ(13桁)	
デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合	
オンライン決済番号メモ(11桁)	
ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合	
お客様番号メモ(11桁)	
確認番号メモ(6桁)	
収納機関番号(5桁)	5 8 0 2 1 ※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

! 申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。
※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

5

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

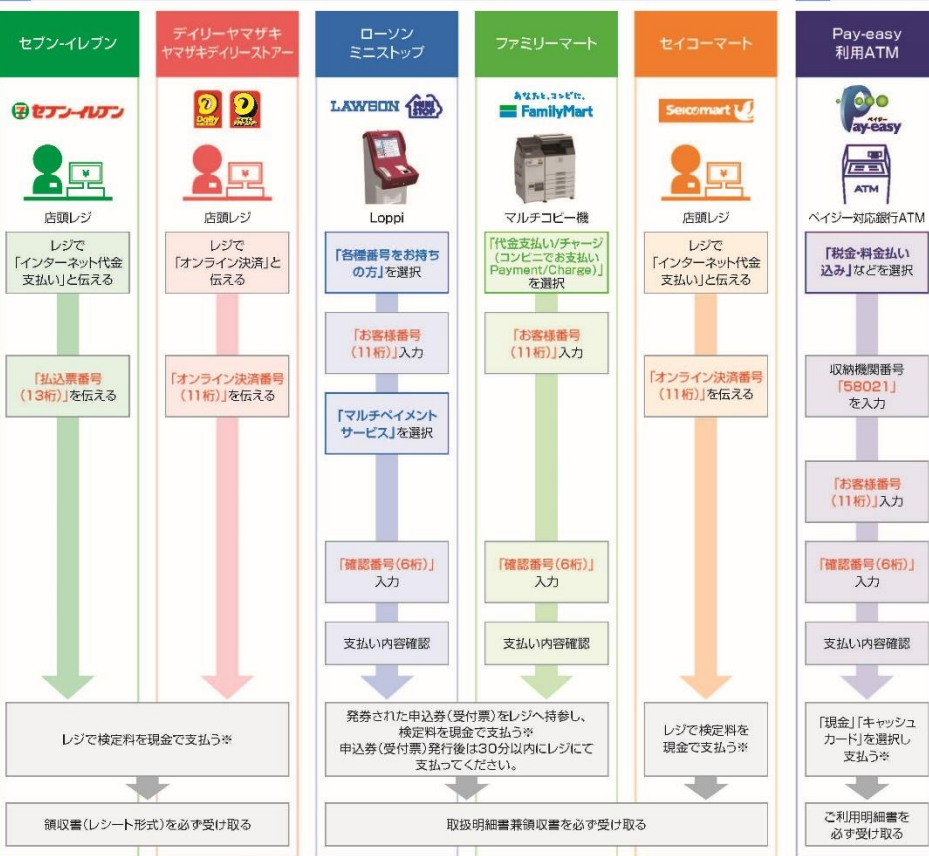
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



*ゆうちょうは銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストア利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

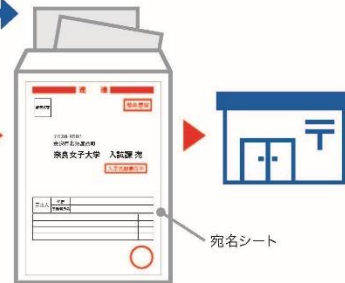
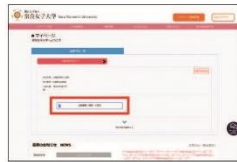
STEP**6**
出願書類等の郵送 登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

各募集要項に記載されている出願書類等を出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。【持参不可】 ※出願期間は各募集要項を確認してください。

出願書類の詳細は、各募集要項の「出願手続」をよく読んで準備してください。

送付先 〒630-8506 奈良市北魚屋西町
奈良女子大学 入試課 宛

※出願受理した入学検定料・出願書類は一切返却しません。


「入学志願票」等の印刷方法


- (1) マイページに表示された **出願書類(PDF)の表示** のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると **出願書類(PDF)の表示** のボタンがクリックできるようになり入学志願票等の出力ができます。

〈出願完了〉
**出願時の
注意点**

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、出願書類等を郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。ただし、出願登録及び入学検定料の支払いは出願締切日前日まで、出願書類等の郵送については各募集要項で詳細をご確認ください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP**7**
受験票の印刷と写真貼付 出願締切後にご登録のメールにご連絡します。

本学で出願を確認後、入試毎に出願期間終了後から各募集要項「受験票の印刷と写真貼付」に記載の期日までに一斉に受験票を配信します。Web出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、STEP6で郵送した写真票に貼り付けた写真と同じ写真を貼り付け、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に**片面印刷**にしてください。



10. 出願の前に相談や手続が必要な場合について

① トランスジェンダー女性 (MtF) の出願について

奈良女子大学では、戸籍などの法的な性別だけでなく、自らの性自認に基づいて「女子」として女子大学で学ぶことを希望する人を受入れます。性自認が女性であるが法的な性別がそれとは異なる場合には、原則として**出願受付開始の1か月前までに**下記の相談窓口までメールで申し出てください。出願を希望する場合は、面談により、出願資格の確認及び入学後の学生生活に関する相談を行います。なお、面談の申請及び面談に係る秘密は守られ、出願後、面談の内容によって合否判定の際に不利に取り扱われることはありません。

トランスジェンダー受入相談窓口

E-mail tgsoudan@cc.nara-wu.ac.jp (電話番号なし)

(件名が空欄の場合、正しく届かないことがあります。)

② 受験上等の配慮について

病気・負傷や障害等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、原則として**出願受付開始の1か月前までに**入試課に相談の上、所定の手続きをしてください。相談は、電話、FAX、メール等いずれの方法でも構いません。

また、出願後に不慮の事故等により、同様に配慮を希望するに至った場合には、直ちに入試課へ申し出の上、相談してください。相談が試験期日の直前の場合や、配慮内容によっては対応できないこともありますので、早めに相談してください。

必要に応じ、本学において志願者又は介護者等その事情を説明できる者、あるいは志願者の学校関係者等と面談を行うことがあります。

奈良女子大学入試課 〒630-8506 奈良市北魚屋西町

TEL 0742-20-3353 FAX 0742-20-3354

E-mail nyusika@jim.nara-wu.ac.jp

(件名が空欄の場合、正しく届かないことがあります。)

なお、配慮の対象となる者は、下表のとおりです。

区 分	対象となる者
①視 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none"> 点字による教育を受けている者 両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
②聴 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none"> 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
③肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 両上肢の機能障害が著しい者 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
④病 弱	<ul style="list-style-type: none"> 慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤発 達 障 害	<ul style="list-style-type: none"> 学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
⑥そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

11. 合格発表 ※学内掲示場への掲示による発表は行いません。

- (1) 第1次選考合格者受験番号一覧を次の日時(時刻は予定)に本学ウェブサイト(<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/goukaku.html>)に掲載し、同日中に受験者全員に選考結果を発送します。なお、選考結果は必ず本学が送付した文書で確認してください。
【文学部・工学部Q²型(スクエア)】令和7(2025)年9月19日(金)午前10時
【理学部・生活環境学部・工学部Q³型(キューブ)】令和7(2025)年9月26日(金)午前10時
- (2) 第2次選考合格者(最終合格者)受験番号一覧を令和7(2025)年11月1日(土)午前10時(時刻は予定)に本学ウェブサイト(<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/goukaku.html>)に掲載し、同日中に合格者には合格通知書を発送します。合格者受験番号を本学ウェブサイトに掲載しますが、必ず合格通知書をもって確認してください。
- (3) 第1次選考の結果及び第2次選考合格者に送付する合格通知書は、上記(1)及び(2)に示す期日に大学から発送するので、到着まで2日程度かかります。
- (4) 電話等による可否の照会には一切応じられません。ただし、第1次選考結果発送期日から3日を経過しても選考結果が届かないとき及び第2次選考合格者で、その発表期日から3日を経過しても合格通知書が届かないときは、その旨入試課に連絡してください。

12. 合格者に対する入学前教育等について

本入試合格者を対象として入学前教育や指導を実施します。詳細は、最終合格者に合格通知とともに通知します。なお、入学前教育の一環として、最終合格者に大学入学共通テストの受験を求める選抜単位があります。その詳細については、次項をご覧ください。

13. 大学入学共通テストの受験について

次のとおり、選抜単位によっては、最終合格者に対して、入学前教育の一環として、大学入学共通テストの受験を求めます。該当者は、令和8(2026)年1月に実施される大学入学共通テストの以下に指定した教科・科目を必ず受験してください。なお、受験に先立ち、同テスト出願の際に、「成績通知」の手続きをしてください。出願後の手続はできませんので、注意してください。手続の詳細は大学入試センターのホームページ(<https://www.dnc.ac.jp>)「令和8年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験案内」(令和7年6月中旬公表予定)を参照してください。



大学入試センターホームページ

二次元バーコード

選抜単位		各選抜単位が指定する教科・科目名	
文学部		受験を求めない	
理学部	数物科学科(数学型, 物理型共通)	国語 (国) 地歴, 公民 (地総・地探, 歴総・日探, 歴総・世探, 地総/歴総/公, 公・倫, 公・政経から1) 数学① (数Ⅰ・数A) 数学② (数Ⅱ・数B・数C) 理科 (物理, 化学, 生物, 地学から2) 外国語 (英, 独, 仏, 中, 韓から1) 情報 (情Ⅰ) [6教科8科目]	
	化学生物 環境学科		化学コース
			生物科学コース
			環境科学コース
生活環境学部	食物栄養学科	受験を求めない	
	心身健康学科	受験を求めない	
	住環境学科	【理科2科目利用型】 国語 (国) 地歴, 公民 (地総・地探, 歴総・日探, 歴総・世探, 地総/歴総/公, 公・倫, 公・政経から1) 数学① (数Ⅰ・数A, 数Ⅰから1) 数学② (数Ⅱ・数B・数C) 理科 (物理, 化学, 生物, 地学から2) 外国語 (英, 独, 仏, 中, 韓から1) 情報 (情Ⅰ) [6教科8科目] 【地歴・公民2科目利用型】 国語 (国) 地歴, 公民 (地総・地探, 歴総・日探, 歴総・世探, 地総/歴総/公, 公・倫, 公・政経から2) 数学① (数Ⅰ・数A, 数Ⅰから1) 数学② (数Ⅱ・数B・数C) 理科 (物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1) 外国語 (英, 独, 仏, 中, 韓から1) 情報 (情Ⅰ) [6又は7教科 8科目]	

選抜単位			各選抜単位が指定する教科・科目名
生活環境学部	文化情報学科	生活文化学コース	<p>【理科2科目利用型】</p> 国語 (国) 地歴, 公民 (地総・地探, 歴総・日探, 歴総・世探, 地総/歴総/公, 公・倫, 公・政経から1) 数学① (数Ⅰ・数A, 数Ⅰから1) 数学② (数Ⅱ・数B・数C) 理科 (物理, 化学, 生物, 地学から2) 外国語 (英, 独, 仏, 中, 韓から1) 情報 (情Ⅰ) [6教科8科目]
		生活情報通信科学コース	<p>【地歴・公民2科目利用型】</p> 国語 (国) 地歴, 公民 (地総・地探, 歴総・日探, 歴総・世探, 地総/歴総/公, 公・倫, 公・政経から2) 数学① (数Ⅰ・数A, 数Ⅰから1) 数学② (数Ⅱ・数B・数C) 理科 (物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1) 外国語 (英, 独, 仏, 中, 韓から1) 情報 (情Ⅰ) [6又は7教科 8科目]
工学部	工学科 (Q ² 型, Q ³ 型 共通)		<p>【理科2科目利用型】</p> 国語 (国) 地歴, 公民 (地総・地探, 歴総・日探, 歴総・世探, 地総/歴総/公, 公・倫, 公・政経から1) 数学① (数Ⅰ・数A) 数学② (数Ⅱ・数B・数C) 理科 (物理, 化学, 生物, 地学から2) 外国語 (英, 独, 仏, 中, 韓から1) 情報 (情Ⅰ) [6教科8科目]
			<p>【地歴・公民2科目利用型】</p> 国語 (国) 地歴, 公民 (地総・地探, 歴総・日探, 歴総・世探, 公・倫, 公・政経から2) 数学① (数Ⅰ・数A, 数Ⅰから1) 数学② (数Ⅱ・数B・数C) 理科 (物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1) 外国語 (英, 独, 仏, 中, 韓から1) 情報 (情Ⅰ) [6又は7教科 8科目]

※ 海外に在住している等, 合格後の共通テスト受験に困難が予想される場合は, できるだけ早い時期に本学入試課までご相談ください。

14. 入学手続等

以下はどの選抜単位に合格した場合にも適用されます。

(1) 入学手続締切日

令和7(2025)年11月28日(金)

※ 入学手続きについての詳細は、合格者に改めて通知します。

(2) 入学料及び授業料

入学料 282,000円 [令和7(2025)年度入学者実績]

授業料 年額535,800円(半期 267,900円) [令和7(2025)年度実績]

- (注)
- i. 上記の入学料及び授業料は、改定されることがあります。
 - ii. 既納の入学料は、前述「14.入学手続等(1)の入学手続」を行わなかった場合を除き返還できません。
 - iii. 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から改定後の授業料が適用されます。
 - iv. 入学時には、上記入学料のほか学生教育研究災害傷害保険料等に関する若干の経費が必要です。
 - v. 授業料は入学後に納めていただきます。

(3) 入学手続きについての注意事項

- ① 特別の事情が生じて入学を辞退せざるを得なくなった場合は、本人が辞退理由を自筆した「入学辞退届」(様式は任意)を、令和7(2025)年11月28日(金)までに、本学学長宛てに提出しなければなりません。
- ② 合格者が入学又は入学辞退のいずれの手続きも行わない場合は、合格者としての権利を消失します。この場合、他の国公立大学・学部等の個別学力検査を受験しても入学許可は得られません。
- ③ 国公立大学の個別学力検査における合格決定業務を円滑に行うため、合格者の氏名(大学入学共通テストに出願している場合はその受験番号)及び入学手続き状況(「入学手続きをした者」、「入学辞退届を提出した者」又は「入学手続きしなかった者(入学辞退届を提出した者を除く)」の別)に関する情報を、独立行政法人大学入試センター(及び国公立大学の個別学力検査に出願した場合は出願した大学)に送達します。

15. 本入試で不合格になった場合の国公立大学への出願について

- (1) この総合型選抜に不合格となった場合は、国公立大学一般選抜「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つ、公立大学一般選抜「中期日程」から一つ、最大三つの大学・学部等に出願することができます。また、国公立大学学校推薦型選抜に出願することも可能です。これら一般選抜等に出願する場合は、出願する大学の募集要項に基づき手続してください。
- (2) 本学の一般選抜「前期日程」及び「後期日程」、学校推薦型選抜に出願する場合は、令和8(2026)年度奈良女子大学一般選抜学生募集要項や学校推薦型選抜学生募集要項により、改めて出願手続きを行ってください。なお、検定料は別途必要です。

16. その他の案内

(1) 修業年限

4年（ただし、3年以上在学し、卒業の要件として定める単位を優秀な成績で修得したと認められる場合には、早期卒業を認めることがあります。）

(2) 開設する授業科目及び卒業要件単位数（令和8(2026)年度）

授業科目は、教養教育科目、専門教育科目及びキャリア教育科目からなっています。
卒業に必要な単位は、124単位以上ですが、詳細は学部で定めています。

(3) 取得できる資格

各学部・学科で取得することができる資格は次の表のとおりです。

教員免許については、教育職員免許法に定める所定の単位を取得することで、次の表のとおり高等学校、中学校、小学校及び幼稚園の教諭などの免許を取得することができます。さらに所定の単位を取得し講習を経ると学校図書館司書教諭の資格を取得することができます。

また、学芸員についても所定の単位を取得し実習を経て資格を取得することができます。

学 部	学 科	教育職員免許状の種類	教 科	取得できる資格	
文学部	人文社会学科	高等学校教諭一種免許状	地理歴史，公民	学芸員， 学校図書館司書教諭，社会福祉主事（任用資格）	
		中学校教諭一種免許状	社会		
	言語文化学科	高等学校教諭一種免許状	国語，書道，英語		
		中学校教諭一種免許状	国語，英語		
	人間科学科				学芸員，公認心理師（受験資格対応），社会福祉主事（任用資格）
	人間科学科 子ども教育専修プログラム（注）	小学校教諭一種免許状			学芸員，学校図書館司書教諭，公認心理師（受験資格対応），社会福祉主事（任用資格）
幼稚園教諭一種免許状					
理学部	数物科学科 数学コース	高等学校教諭一種免許状	数学	学芸員， 学校図書館司書教諭	
		中学校教諭一種免許状	数学		
	数物科学科 物理学コース	高等学校教諭一種免許状	理科		
		中学校教諭一種免許状	理科		
	数物科学科 数物連携コース				学芸員
	化学生物環境学科	高等学校教諭一種免許状	理科		学芸員， 学校図書館司書教諭
中学校教諭一種免許状		理科			
生活環境学部	食物栄養学科	高等学校教諭一種免許状	家庭	栄養士，管理栄養士（受験資格），学芸員，学校図書館司書教諭，食品衛生管理者（任用資格），食品衛生監視員（任用資格），社会福祉主事（任用資格）	
		中学校教諭一種免許状	家庭		
		栄養教諭一種免許状			

生活環境学部	心身健康学科	高等学校教諭一種免許状	家庭	学芸員，学校図書館司書教諭，社会福祉主事（任用資格）	
	生活健康学コース	中学校教諭一種免許状	家庭		
	心身健康学科	高等学校教諭一種免許状	保健体育		
	スポーツ健康科学コース	中学校教諭一種免許状	保健体育		
	心身健康学科			学芸員，公認心理師（受験資格対応），社会福祉主事（任用資格）	
	住環境学科		高等学校教諭一種免許状	家庭	学芸員，学校図書館司書教諭，2級建築士（受験資格），1級建築士（受験資格，免許登録には実務経験2年必要），木造建築士（受験資格），インテリアプランナー（在学中受験可，卒業後登録資格），社会福祉主事（任用資格）
			中学校教諭一種免許状	家庭	
	文化情報学科	生活文化学コース	高等学校教諭一種免許状	家庭	学芸員，学校図書館司書教諭，社会福祉主事（任用資格）
			中学校教諭一種免許状	家庭	
	文化情報学科	生活情報通信科学コース	高等学校教諭一種免許状	情報	学芸員，学校図書館司書教諭，社会福祉主事（任用資格）
工学部	工学科			学芸員，2級建築士（受験資格，免許登録には実務経験2年必要），木造建築士（受験資格，免許登録には実務経験2年必要）	

※ 学校図書館司書教諭は，幼稚園教諭と養護教諭と栄養教諭を除く一般の教育職員免許状を有し，かつ学校図書館司書教諭資格を得た者になることができます。

(注) 文学部の人間科学科「子ども教育専修プログラム」とは，小学校・幼稚園の教諭免許状を取得するためのプログラムで，このプログラムを履修できるのは，学校推薦型選抜によって入学した者に限ります。総合型選抜及び一般選抜で入学した者は，このプログラムを選択することはできません。

(4) 学生寄宿舎

本学には学生寄宿舎として寄宿寮と国際学生宿舎があり，学生に安定した生活の場を提供し，修学上の便宜を図っています。

寄宿寮は収容定員168人で，S棟<メゾネット式の2階建，3人シェアタイプ，1ユニットの構成は共用キッチン+3個室>，管理棟（K棟），3棟から構成されています。

国際学生宿舎（A棟）は収容定員190人で，外国人留学生も入居しており日常生活を共に過ごしながら身近に国際交流を図ることができます。

なお，新入生（1回生及び3年次編入生）は，S棟への入居となります。

ただし，新入生の1回生については，1回生の終わりにS棟から他の棟へ引越しを行います。

※ 入居資格：通学時間が片道2時間以上の者。入居希望者が募集人員を上回る場合は，経済状況を基礎資料として選考。

《参考1：S棟の経費等》

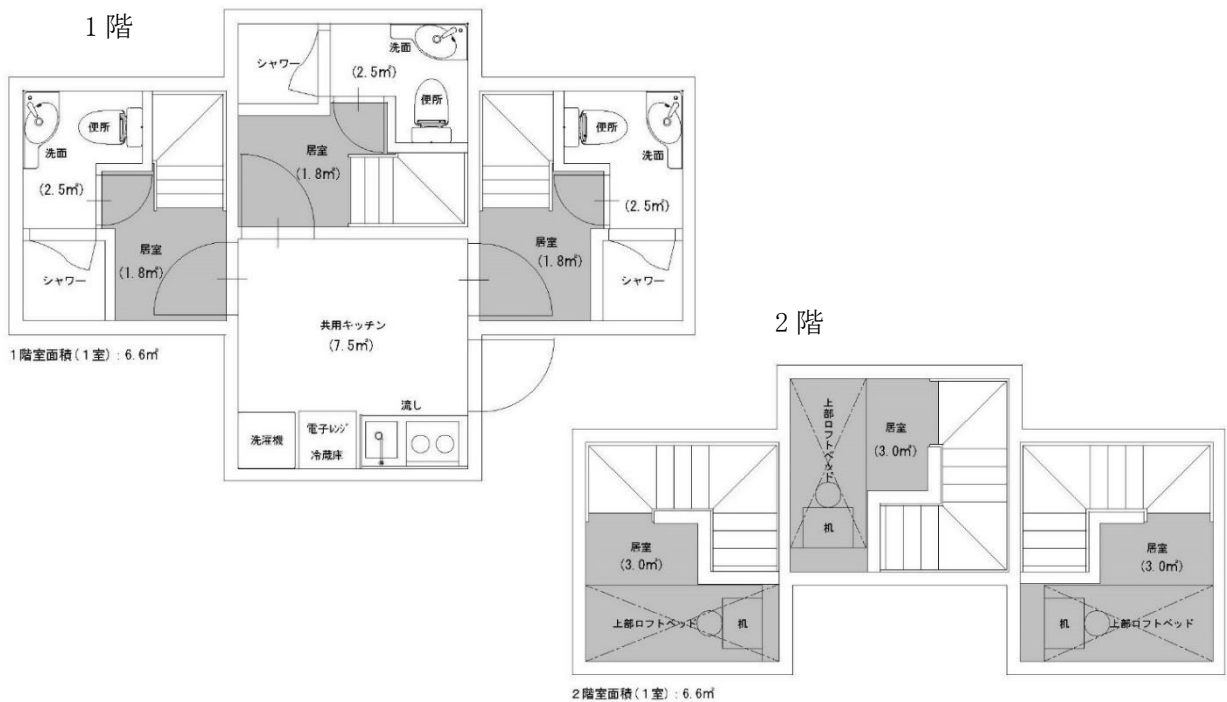
木造メゾネット式 各個室の面積：1階室面積（1室）6.6㎡（※居室部分+トイレ・シャワー室部分は4.3㎡）

2階室面積（1室）6.6㎡（※居室部分は3.0㎡）

1階共用キッチンの室面積：7.5㎡

- ① 経費（月額） 寄宿料（月額） 4,700円（令和6年度実績）
 共益費等（月額） 約8,400円（令和5年度実績）
 水道光熱費（S棟の居室・共用部） 約6,000円（令和5年度実績）
 ※新寮入居人数で均等割りとなります。
 既設インターネット回線利用料<希望者のみ>
 ※無線プランの毎月契約の場合 初回申込料2,200円（税込），月額3,263円（税込）
 （令和6年度実績）
 なお、退去時の居室清掃（清掃業者委託）費として10,000円を、最初の寄宿寮等の引落時に併せて徴収します。
- ② 食 事 各ユニット内にある共用キッチンで自炊
- ③ 部屋の設備 (1階共用キッチン内) エアコン, IHクッキングヒーター, 冷蔵庫, 電子レンジ, 洗濯機, 掃除機
 (1階居室部分) 洗面台付きトイレ(温水洗浄便座), シャワー室
 (2階居室部分) 居室エアコン, ロフトベッド(マットレス付き), 机, 椅子, デスクライト
- ④ 共同施設等 乾燥機室, 多目的ホール(管理棟), 面会室(管理棟の和室)

(S棟の間取りの一例)

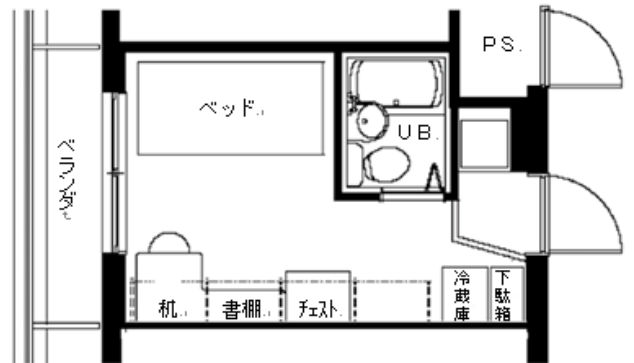


《参考2：既存の寮（管理棟（K棟）・3棟・A棟）の経費等》

- 管理棟：鉄筋コンクリート造 1階建て
- 3 棟：鉄筋コンクリート造 3階建て
- A 棟：鉄筋コンクリート造 5階建て

- ① 経費（月額） 寄宿料（月額） 4,700円（令和6年度実績）
 共益費等（月額）約7,000円（令和6年度実績）
 電気代（居室分） 実費
 ※居室分は電気事業者との個人契約
 既設インターネット回線利用料<希望者のみ>
 ※無線プランの毎月契約の場合 初回申込料2,200円（税込），月額3,263円（税込）
 （令和6年度実績）
- ② 食 事 各フロアーにある共用キッチンで自炊
- ③ 部屋の設備 机，椅子，ベッド，書棚，
 冷凍冷蔵庫，物干し，下駄箱，
 エアコン，ユニットバス
- ④ 共同施設等 共用キッチン，リビング，
 多目的ホール，洗濯室，
 面会室（和室）

（既存の学生寄宿舎の間取りの一例）
 面積：約14㎡



(5) 奨学金制度

① 日本学生支援機構給付奨学金

※給付奨学金は高等教育の修学支援新制度の一環として実施されます。

資格	<ul style="list-style-type: none"> ・大学へ入学した日が高校等を初めて卒業した年度の翌年度末から2年を経過していない人 ・過去に給付奨学金を利用したことがない人 ・日本国籍もしくは日本学生支援機構が定める在留資格要件を満たす人 	
給付月額	世帯の所得金額に基づく区分に応じて、通学形態により定められた金額 <ul style="list-style-type: none"> ・自宅通学生 第I区分：29,200円、第II区分：19,500円、第III区分：9,800円、第IV区分（多子世帯）：7,300円 ・自宅外通学生 第I区分：66,700円、第II区分：44,500円、第III区分：22,300円、第IV区分（多子世帯）：16,700円 	
基準	学力	1年次生 高校等での評定平均が3.5以上 または 十分な学習意欲が確認できること
	家計	父母又はこれに代わって家計を支えている人の収入が日本学生支援機構の定める収入基準内であること

② 日本学生支援機構貸与奨学金

区 分		第一種奨学金	第二種奨学金
資 格		特に優れた学生で、経済的理由により著しく修学が困難な者	優れた学生で、経済的理由により修学が困難な者
貸与月額		<ul style="list-style-type: none"> ・自宅通学生 20,000円・30,000円・45,000円から選択 ・自宅外通学生 20,000円・30,000円・40,000円・45,000円・51,000円から選択 <p>※自宅・自宅外とも各区分の最高月額を選択する場合には、一定の収入条件が必要です。</p>	希望により20,000円～120,000円(1万円単位)から選択
貸与条件		無利子	卒業後に年3%上限の有利子
基準	学力	1年次生 高校又は専修学校高等課程最終2か年の成績の平均が3.5以上の者	1年次生 出身学校の成績が学年の平均水準以上と認められる者
	家計	父母又はこれに代わって家計を支えている人の収入が日本学生支援機構の定める収入基準内であること	

③ 学内奨学金

学部2年次生以上であり、学業・人物ともに優秀で両親のいない又は母子家庭・父子家庭など特別の事情があり、経済的理由により修学困難な学生に対して、月額15,000円を給付する廣岡奨学金があります。

その他に、優れた学生に10,000円(1回限り)を授与する広部奨学金と、30,000円(1回限り)を授与する本学同窓会の佐保会奨学金があります。

また、本学子育て支援システム利用者を対象とする育児奨学金(年2回、各回上限20,000円)の制度もあります。

④ その他の奨学金

地方公共団体や民間の奨学財団からの募集があります。給付型及び貸与型があり、月額15,000円～50,000円程度です。

(6) 入学料及び授業料の免除等

経済的に困窮し、かつ学業優秀と認められるものを対象に、授業料・入学料を減免する制度があります。

日本人学部学生については、授業料・入学料を減免と併せて奨学金が給付される高等教育の修学支援新制度に基づいて実施します。令和7年度からは、高等教育の修学支援新制度において、多子世帯を対象とした入学料免除・授業料免除も実施します。

また、入学料や授業料の納付を猶予する徴収猶予制度や、授業料を分割して納付する授業料月割分納制度があります。

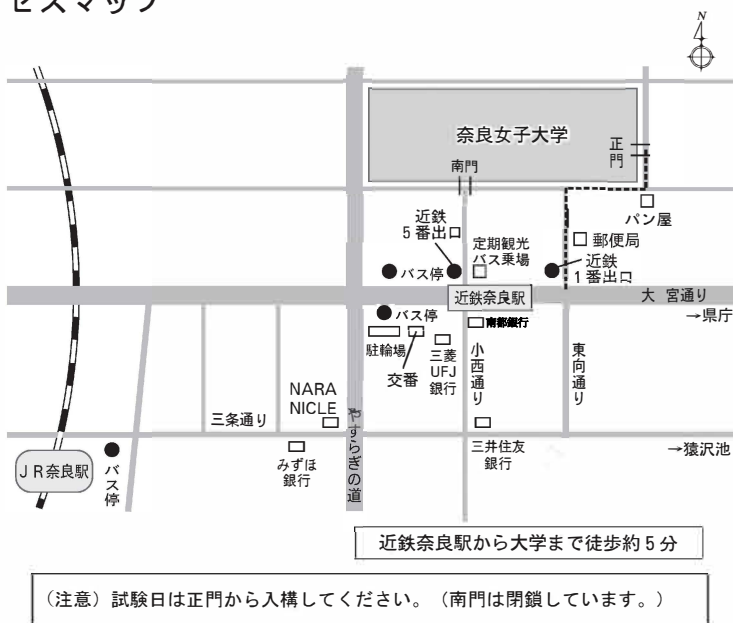
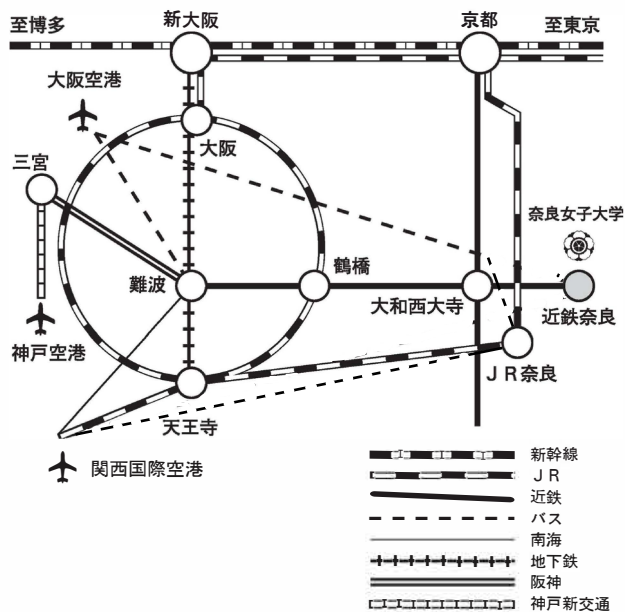
(7) 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険（全員加入）

この保険は、学生が正課中等における不慮の事故により身体に傷害を被った場合や、他人にケガをさせたり他人の財物を損壊したりしたことで法律上の損害賠償責任を負ったことにより被る損害を補償する制度です。

保険料（令和6(2024)年度実績）は次のとおりです。

学 部	保 険 料	保 険 期 間
全学部	4,660 円 (内訳:学研災 3,300 円 +学研賠 1,360 円)	4 年間

アクセスマップ



京都から

近鉄京都線(急行)で近鉄奈良まで約45分+ **徒歩約5分**

新大阪から

J R東海道本線で大阪駅へ、J R大阪環状線(外回り)で鶴橋へ、近鉄奈良線(快速急行・急行)で近鉄奈良まで約60分+ **徒歩約5分**

大阪から

J R大阪環状線(外回り)で鶴橋へ、近鉄奈良線(快速急行・急行)で近鉄奈良まで約50分+ **徒歩約5分**

難波から

近鉄奈良線(快速急行・急行)で近鉄奈良まで約35分+ **徒歩約5分**

天王寺から

J R大和路快速でJ R奈良まで約30分+近鉄奈良までバス5分+ **徒歩約5分**

J R大阪環状線(内回り)で鶴橋へ、近鉄奈良線(快速急行・急行)で近鉄奈良まで約45分+ **徒歩約5分**

大阪空港から

空港バスでJ R奈良まで約80分+近鉄奈良までバス5分+ **徒歩約5分**

空港バスで難波へ、近鉄奈良線(快速急行・急行)で近鉄奈良まで約70分+ **徒歩約5分**

関西空港から

空港バスでJ R奈良まで約100分+近鉄奈良までバス5分+ **徒歩約5分**

南海空港急行で難波へ、近鉄奈良線(快速急行・急行)で近鉄奈良まで約110分+ **徒歩約5分**

J R関空快速で天王寺へ、J R大阪環状線(内回り)で鶴橋へ、近鉄奈良線(快速急行・急行)で近鉄奈良まで約100分+ **徒歩約5分**

三宮から

阪神なんば線・近鉄奈良線(快速急行)で近鉄奈良まで約80分+ **徒歩約5分**

神戸空港から

神戸新交通ポートアイランド線で三宮へ、阪神なんば線・近鉄奈良線(快速急行)で近鉄奈良まで約100分+ **徒歩約5分**

キャンパスマップ

